

2014～2016 年度入学者用

(学生証番号の先頭2桁が「14」「15」「16」の学生用)

キャリアデザイン学部 2014～2016 年度入学者 カリキュラム

【注意事項】

本ファイルは2016年度以前に本学部へ入学した学生用の案内です。
2021年度キャリアデザイン学部履修の手引のうち「カリキュラム」「科目」「履修」
に該当する内容です。
その他の案内については、2021年度キャリアデザイン学部履修の手引を参照して
ください。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

卒業するためには

卒業して学士（キャリアデザイン学）の学位を得るためには、在学年限内に市ヶ谷基礎科目と専門科目について下記の単位規定をすべて満たさなければなりません。

卒業所要単位（2014～2016年度入学者用）

科目系列			必要単位数			
市ヶ谷基礎科目	0群	必修(基礎ゼミ)	2単位	2単位以上	36単位以上	
		選択				
	1群		4単位以上	20単位以上		
	2群		4単位以上			
	3群		4単位以上			
	4群	英語	4単位以上	8単位以上		
選択(諸外国語)		4単位以上				
選択外国語						
5群(体育)		2単位以上				
学部専門科目 専門科目	基幹科目	必修(キャリアデザイン学入門)	2単位	20単位以上	72単位以上	
		選択必修(キャリア研究調査法)	2単位以上			
		選択必修(入門系科目)	8単位以上 ^{*1}			
		選択				
	展開科目		52単位以上 (*1で選択した領域から、36単位以上含む) (体験型選択必修科目4単位(1ペア)以上含む)			
	演習科目 ^{*2}					
	関連科目					
	他学部公開科目					
	自由科目 ^{*3}	ERP科目 ^{*4}				
		ESOP科目 ^{*4}				
グローバル・オープン科目						
インターン・ボランティア ^{*4}						
短期語学研修 ^{*4}						
市ヶ谷基礎科目・専門科目合計 132単位以上						

*1 基幹科目の入門系科目のうち、「発達・教育キャリア」「ビジネスキャリア」「ライフキャリア」から1つの領域を選択し、

その選択した領域で8単位を修得しなければなりません。

*2 基幹科目(入門系科目)および展開科目で選択した領域と同じ領域を選択しなければなりません。

*3 自由科目は卒業所要単位として16単位まで修得可能です。

*4 グローバル教育センター設置科目です。必要手続きを経て単位認定を行います。

注意

- 学部専門科目は、基幹科目、展開科目、演習科目、関連科目に大別され、科目群によっては必修科目や選択必修科目があります。必修科目はすべて単位を修得しないと卒業の要件を満たしません。選択必修科目とは、予め指定された科目群の中から所定の単位数以上の修得が条件とされている科目のことです。
- 市ヶ谷基礎科目と学部専門科目のそれぞれ最低必要単位数を合計すると108単位(=36+72)になります。卒業所要総単位数との差24単位(=132-108)については、市ヶ谷基礎科目、専門科目(学部専門科目および自由科目)のいずれから修得しても構いません。
- 休学者の進級および卒業については2021年度キャリアデザイン学部履修の手引の「学籍」の項目を確認してください。
- 3年次終了までに卒業所要単位を修得していても、4年次に4単位以上を修得しなければ卒業することはできません。(進級に関する規程参照)
- 必要単位数欄が空欄になっている系列の科目は、仮に単位の修得がなくても他の系列の科目によって右側に示されている必要単位数を修得していれば卒業の要件を満たせることを表しています。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

(※)前ページの「卒業所要単位」の表は各「科目系列」ごとに科目を履修し合計して何単位取得すると卒業要件を満たすかを示したものです。さらにそれらの科目のうちに4単位分の「体験型選択必修科目」を含んで履修し単位を取得することも併せて卒業要件となっています。それらの科目は後述の「体験型選択必修科目」一覧表に示すものですが、春学期・秋学期とも表に示した科目をペアで、かつ「事前指導」や「I」を先に履修し単位を修得した後「実習」や「II」を履修しそれぞれ2単位、合計4単位取得することが卒業要件となります。これらのペア科目は定員を定めています。年度初めのガイダンスに出席し、履修希望申請書を必ず提出してください。これらのペア科目は2年次から履修できます。できるだけ他の学部専門科目の履修に影響が少ない2年次に履修することを推奨します。

「体験型選択必修科目」一覧

年次	春学期+秋学期 でペアとなる科目		定員 (予定)
	春学期科目名 (各2単位)	秋学期科目名 (各2単位)	
2年～	キャリアサポート事前指導	キャリアサポート実習	20×4クラス
	キャリア体験事前指導	キャリア体験学習	25×4クラス 30×1クラス
	キャリア体験事前指導 (国際)	キャリア体験学習 (国際)	10×2クラス
	多文化教育 I	多文化教育 II	45
	メディアリテラシー実習 I	メディアリテラシー実習 II	16
	地域学習支援 I	地域学習支援 II	35

進級するためには

キャリアデザイン学部において進級するためには、各年次2セメスター在学し、各年次で下記の単位規定を満たさなければなりません。1単位でも不足したり間違いがあったりすると、進級できないので注意してください。

進級に関する規程 (キャリアデザイン学部)

第1条 第1年次から第2年次へ進級する者は、第1年次修了までに24単位以上修得していなければならない。

第2条 第2年次から第3年次に進級する者は、第2年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。ただし、SSI所属学生は第1号のみ適用する。

- (1) 第2年次修了までに48単位以上
- (2) 基幹科目の必修科目 (キャリアデザイン学入門)

第3条 第3年次から第4年次に進級する者は、第3年次修了までに次の各号に定める単位を修得しなければならない。

- (1) 市ヶ谷基礎科目のうち4群及び5群の卒業所要単位
- (2) 前号の単位を含め88単位以上

第4条 4年次においては、4単位以上を修得しなければならない。但し、法政大学学則第49条第4項に定める場合を除く。

第5条 進級は学年度初め (4月1日付) をもって行う。

*進級に関する修得単位数に教職・資格科目 (卒業要件外科目) は含みません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

<参考>

法政大学学則第49条

第49条 4年以上在学し、卒業所要単位を修得した者には、学士の学位を与え学位記を授与する。

- 2 前項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は学年末に行う。但し、本人の申請により春学期末に行うことができる。
- 3 前項の規定にかかわらず、秋学期に入学し、第1項の卒業の要件を充たした者の学位記授与は春学期末に行う。但し、本人の申請により秋学期末に行うことができる。
- 4 第1項の規定にかかわらず、3年以上在学し、卒業所要単位を優秀な成績で修得した者は学士の学位を与え、学位記を授与することができる。
- 5 前項の早期卒業に関する要件は別に定める。
- 6 前5項における卒業の確定日は、学年末は3月24日とし、春学期末は9月15日とする。
(以下、省略)

早期卒業について

キャリアデザイン学部早期卒業に関する規程（規定第927号）第2条

第2条 早期卒業を認める学生は、次の各号に定める要件を全て満たしていなければならない。

- (1) 早期卒業終了時までに卒業所要単位を修得し、かつGPAが3.0以上の者。
- (2) 専門科目および^{*}市ヶ谷基礎科目の修得科目のうち、それぞれ9割以上がA-評価以上であること。
- (3) 3年次に演習（発達・教育）、演習（ビジネス）又は演習（ライフ）を履修、修得していること。^{**}
- (4) 卒業論文に準ずる論文や作品等を執筆または制作し、高い評価を得た者。

2 前項第1号及び第2号にかかわらず、本学大学院又は専門職大学院に進学する者については、前項第1号及び第2号の要件を次のとおりとする。

- (1) 早期卒業時までに卒業所要単位を修得し、かつGPAが2.7以上の者。
- (2) 専門科目及び^{*}市ヶ谷基礎科目の修得科目のうち、それぞれ8割以上がA-評価以上であること。

早期卒業の手続きスケジュール等

- ～10月下旬 早期卒業申請受付
- 12月中旬 卒業論文に準ずる論文・作品提出
* 4年生の卒業論文提出期間と同様
- 2月上旬 早期卒業希望者に対する面接（口頭試問）
- 3月上旬 面接（口頭試問）の結果通知
* 4年生の卒業発表期間と同様
- 3月24日 条件を満たした場合、卒業

* 詳細は掲示等でお知らせします。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

履修登録について

履修に際しては、自分が関心を持つテーマに関連した学問分野の科目の単位を、確実にしかも段階を追って修得していくことが必要です。市ヶ谷基礎科目の中には、学部の専門科目を学ぶ上で前提になるような基本的内容を取り上げている科目があります。また、学部科目の中にも、科目間の履修順序を守る必要がある科目があります。「法政大学webシラバス」で各科目の内容説明を読み、自分にとってどの順番でそれぞれの科目を履修していくのが適切であるのかを、考えてください。



法政大学 web シラバス

具体的な履修の計画をする前に、キャリアデザイン学部主催の各学年向けガイダンスに必ず出席し説明を受けてください。さらに毎年4月に行われる履修相談会を活用して履修計画を立てることもできます。キャリアデザイン学部独自の制度として、学部生は、「キャリアアドバイザー」と呼ばれる学部専門職員に履修に関しての相談をすることができます。個別に履修相談がしたい場合は、キャリアアドバイザールーム（富士見坂校舎3階）のキャリアアドバイザーに相談してください。

1 登録制度とは

単位を修得するためには、指定の期日までに履修したい科目を登録する、「履修登録」という手続きを確実に行わなければなりません。履修登録は春学期・秋学期セメスター開始時の年2回行います。この履修登録はとても重要で、登録を怠った場合は当該セメスターの単位の修得はできず留年となることもあります。また、登録エラーがあった場合、放置したままにすると登録自体が無効となり単位の修得ができません。

みなさんが履修登録の意思表示をした科目はコンピューター処理され、履修が手引きどおりになされているか判定されます。エラーを完全になくしないと正式な登録となりませんので、必ずこの手引きをよく読み、エラーを出さないよう注意してください。ただし、コンピューター処理をしているといっても、すべて細かい部分まで完全に判定はできないこともあります。登録した科目に間違いがないか、履修条件に合っているかは、各自で必ず確認しなければなりません。

履修登録についての詳細は、法政ポータルサイト（Hoppii）内の学部web掲示板等にてお知らせしますので必ず確認してください。

学則第22条	学生は、履修しようとする授業科目を毎年所定の期間内に届け出て、承認を得なければならない。
学則第39条	新入生で指定された期日までに履修届を提出しない等、その他本学において修学する意志がないと認められる者は教授会の議を経て除籍する。

期限までに登録しない場合、当該セメスターの受験資格が認められず単位の取得ができないばかりか除籍となることもあります。十分注意してください。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

2 履修登録前の準備（必ず行ってください）

キャリアデザイン学部では、一部の抽選科目を除き、履修登録期間よりも先に授業が始まります。まずは履修したい科目を学習支援システムに仮登録し、授業に臨んでください。学習支援システムには法政ポータルサイト(Hoppii)からアクセスすることができます。学習支援システムに仮登録することで、その授業に関するお知らせや教材の参照、休講や教室変更等の連絡を受け取ることができます。履修したい授業はすべて仮登録することを忘れないでください。

ただし、学習支援システムへの仮登録は履修登録とは異なります。あくまで、履修登録期間に履修登録をしないと単位が修得できませんので注意してください。

3 履修登録のしかた

学習支援システムへの登録は、あくまでも仮登録です。法政ポータルサイト（Hoppii）から情報システムにアクセスし、履修登録を行ってください。また、履修登録前には必ず「Web履修ガイド」（学部Web掲示板に記載）を読んでください。法政ポータルサイト（Hoppii）のURL、QRコードは以下のとおりです。

<https://hoppii.hosei.ac.jp>



法政ポータルサイト（Hoppii）

履修登録期限については、つぎのことに注意が必要です。

- ・ 掲示された期日までに、必ず自分自身で申請してください。
- ・ 履修登録期間中に病気や不可抗力の事故等のため履修登録ができなかった場合には、診断書等の証明書をつけ、キャリアデザイン学部窓口に出してください。連絡や正当な理由がなく期日に遅れた場合、登録の申請は受けつけません。

履修登録期間後に、日時・時間を勘違いしていた、忘れていた、（締切間際にログインして）PC・システム等の操作方法がわからなかった、あるいはアルバイトがあったからといったような理由での事後登録もしくは登録内容の変更は一切認められません。

履修登録については、卒業・進級に関係してくる重大な事項ですので、必ず所定期間内に登録内容を確認し、手続きを完了させるようにしてください。

4 履修登録の確認

登録した内容を確認するために履修登録科目確認通知書を各自で印刷し、保管してください。履修登録科目確認通知書は、正確に登録されたかを本人が確認する手段となります。履修登録科目の確認を怠ったために、登録ミスに気づかず修得単位ゼロという例も毎年少なからずあります。自己責任が原則です。

5 履修登録の訂正

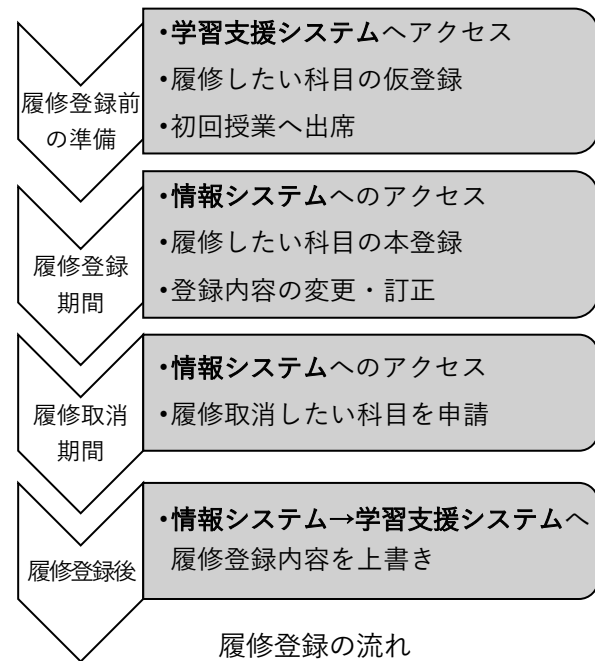
履修登録期間内は何度でも科目を変更することができますが、登録期限後は科目の変更はできません。

登録にエラーがあり、登録ができない場合はエラーの訂正をしないと履修登録が完了しません。

また、エラーの修正が遅れると教員へ渡す受講者名簿に名前が載らず出席をとってもらえないなどの不利益が生じる恐れがあります。

6 履修取消

登録期間後でも、一定期間内に申し出れば登録を取り消すことができます。登録取消の期間については、学部web掲示板で確認してください。



学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

7 登録単位制限と重複登録について

登録できる単位数には、セメスター・年次ごとに上限があります。この制限を超えて登録すると、「登録ミス」となり、すべての科目の履修登録が無効となりますので、注意が必要です。

<注意>

- ・履修登録をしていない科目・曜日・時限の授業へ出席したり、試験を受けたりしても単位の修得はできません。
- ・大学から成績や緊急の連絡等に関する重要書類を郵送することがありますので、転居した際は必ず住所変更の手続きをとってください。
- ・留年および復学・復籍した場合、学生証番号・所属クラスが変更になる場合があります。留年・復学・復籍した当該年次のカリキュラムにもとづいて、登録してください。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

履修登録が可能な単位数について

履修登録には次のようなルールがあります。

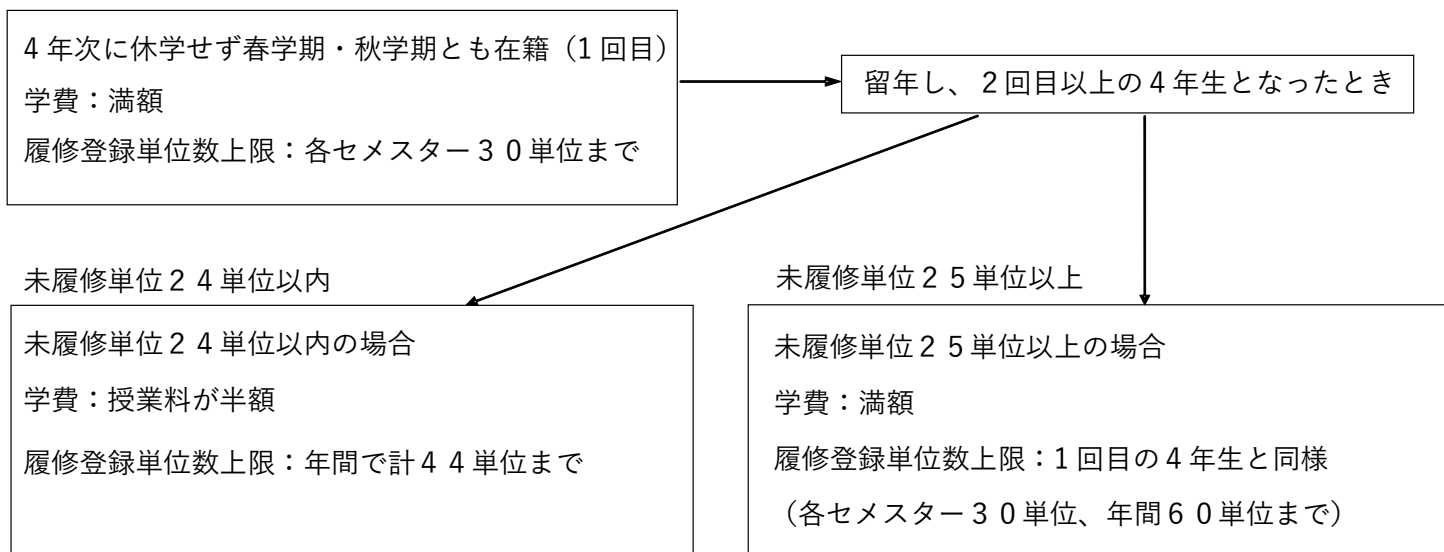
履修登録を怠ったり履修エラーを未修正で放置したりすると授業・試験を受けても単位は修得できませんので、注意してください。

2014年度～2016年度入学者

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降4年生になった場合に履修登録できる単位数

- (1) 未履修単位24単位以内の場合：年間で計44単位まで
- (2) 未履修単位25単位以上の場合：各セメスターおよび年間の履修制限単位数まで

4年次においてセメスターを2期在籍した学生で、留年して2回目以降の4年生になった場合の学費および履修できる単位は、次のとおりです。



1 セメスター・年間の登録上限単位

各セメスターに履修登録できる単位数には上限があります。単位は週あたりの学習時間によって決められています。それゆえ、一定の期間に無制限に単位修得できるわけではありません。

キャリアデザイン学部では、各セメスターおよび年間（2つのセメスター）での履修登録において、科目の系列ごとに登録単位の上限を設けています。

なお、年間科目（2つのセメスターにまたがる科目）については春学期セメスターでのみ履修登録ができ、春学期の履修上限に含めて計算されます。

2 単位数上限について

①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）

原則として1年春学期は24単位まで履修登録が可能です。

1年秋学期以降は、それぞれが修得した（S～C⁻までの評価を得た）単位数によって履修登録できる単位数の上限が決まります。ただし、いずれの場合でも、履修登録できる単位数は合計で半期30単位・年間で48単位が上限です

②専門科目（関連科目）

上記①とあわせて半期30単位・年間で48単位を上限として履修登録することができます。

③教職・資格科目を履修する場合

上記①②の履修登録単位数とあわせて各セメスターで30単位まで履修登録できます。

※SSIコース生は

[A]：市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目も含む）で半期30単位、年間48単位まで履修登録できます。

[B]：**[A]** + 卒業所要単位外の教職・資格科目で半期30単位、年間60単位まで履修登録できます。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

3 1年次春学期（1セメスター）に履修登録できる単位数

- ①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）は1年次春学期で24単位まで履修登録できます。あわせて、
 ②専門科目（関連科目）および③教職・資格科目を履修したい場合は、①とあわせて合計30単位まで履修登録できます。

①市ヶ谷基礎科目と専門科目(関連科目を除く)	②関連科目	③ 教職・資格科目 (教職資格課程表で■科目)
← 24単位まで →		
← ①と②で合計30単位まで →		
← ①と②と③で合計30単位まで →		

*①と②合計で、年間では48単位までの登録となります。(例：春学期に30単位登録した場合、秋学期は18単位まで)

*1年次秋学期以降は上記表の通りにはなりません。個人別で状況が異なりますので、各自で計算してください。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

4 1年次秋学期（2 Semester）以降に履修登録できる単位数

履修制限単位数表（2014年度～2016年度入学者用）

①+②+③

①+②

①

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		1 Semester	2 Semester	3 Semester	4 Semester	5 Semester	6 Semester	7 Semester	8 Semester
市ヶ谷基礎科目+	累積上限単位数	24	42	66	84	108	126	150	168
専門科目(関連科目除く)	当 Semester 履修登録可能単位数	24	42-★	66-★	84-★	108-★	126-★	150-★	168-★

★は、前 Semester 終了時までに修得した(A+~Cの評価を得た)市ヶ谷基礎科目と専門科目(関連科目除く)の単位の合計です。
(ただし各 Semester とも 30 単位が上限です)

② 関連科目(上記★には含まない)

③ 卒業所要単位外の教職課程・資格課程科目

各 Semester の履修上限単位数

- ①市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目を除く）の履修登録上限単位数を考える場合

上記①枠内の表を参照

- ②関連科目を履修する場合の履修登録上限単位数を考える場合

上記①で算出した単位数と専門科目の関連科目（②）で半期30単位、年間48単位まで

- ③教職・資格科目を履修する場合の履修登録上限単位数を考える場合

上記表①+②+③で、半期30単位、年間60単位まで

※ S S I コース生は

[A]：市ヶ谷基礎科目と専門科目（関連科目も含む）で半期30単位、年間48単位まで履修登録できます。

[B]：**[A]** + 卒業所要単位外の教職・資格科目で半期30単位、年間60単位まで履修登録できます。

5 留年した場合に履修登録できる単位数

留年した年次の春学期 Semester の上限単位を適用します。「履修制限単位数表」を参照してください。

6 クラス指定・定員のある科目について

以下の科目は、原則としてクラス指定もしくは定員制が設けられているので、必ずしも希望通りの時間に履修できるとは限りません。

- (1) 市ヶ谷基礎科目4群の必修外国語は、指定されたクラスで受講してください。
- (2) 市ヶ谷基礎科目4群の選択外国語は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (3) 市ヶ谷基礎科目5群の科目は、通常授業のクラス指定か集中授業のいずれかになります。
- (4) 市ヶ谷基礎科目3群のサイエンス・ラボA/Bは、受講者数に制限があります。
- (5) I L A C 科目のうち、履修者が大人数となる授業については抽選があります。詳細については26ページからの案内を読んでください。
- (6) 入門系の授業の受講は、クラス指定されている場合があります。
- (7) 国際コミュニケーション語学は、各授業とも受講者数に制限があります。
- (8) 情報実習室を使用する授業は、受講者数に制限があります。
- (9) 体験型選択必修科目は受講者数に制限があります。
- (10) 上記以外にも受講制限を行う場合があります。選抜方法の詳細についてはweb掲示板や講義概要（シラバス）を参照してください。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

キャリアデザイン学部 カリキュラム構成図 (2014～2016年度入学者用)

市ヶ谷基礎科目					
0群 基礎ゼミ 情報処理演習 日本語の世界Ⅰ・Ⅱ キャリアデザイン入門 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成Ⅰ・Ⅱ 法政学への招待 法政学の探究A・B	1群 文学Ⅰ・Ⅱ 倫理学Ⅰ・Ⅱ 日本史Ⅰ・Ⅱ 東洋史Ⅰ・Ⅱ 西洋史Ⅰ・Ⅱ 哲学Ⅰ・Ⅱ 論理学Ⅰ・Ⅱ 宗教論Ⅰ・Ⅱ 文章論Ⅰ・Ⅱ 芸術Ⅰ・Ⅱ	2群 法学Ⅰ・Ⅱ 法学(日本国憲法) 経済学Ⅰ・Ⅱ 心理学Ⅰ・Ⅱ 地理学Ⅰ・Ⅱ 政治学Ⅰ・Ⅱ 社会学Ⅰ・Ⅱ 文化人類学Ⅰ・Ⅱ 社会思想Ⅰ・Ⅱ	3群 教養数学A・B 基礎数学Ⅰ・Ⅱ 原子から宇宙までⅠ・Ⅱ 物質と環境Ⅰ・Ⅱ サイエンス・ラボA・B 生命科学Ⅰ・Ⅱ 科学史Ⅰ・Ⅱ 天文学Ⅰ・Ⅱ 発展数学Ⅰ・Ⅱ	4群 英語 ドイツ語 フランス語 ロシア語 中国語 スペイン語 朝鮮語 日本語	5群 スポーツ総合演習

基幹科目				
キャリア研究調査法(質的調査)	キャリア研究調査法(量的調査)	キャリアデザイン学入門	発達・教育キャリア入門A・B	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)
				発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)
				ビジネスキャリア入門A～D
				ライフキャリア入門A～D
				労働法
				ファシリテーション論
				若者の自立支援
				職業選択論Ⅰ
				ライフコース論
				生活設計論Ⅰ(社会保障)
				生活設計論Ⅱ(生活設計)
				キャリアモデル・ケーススタディ

展開科目			
展 開 体 験 型 科 目	キャリアサポート事前指導	キャリア体験事前指導	メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ
	キャリアサポート実習	キャリア体験学習	地域学習支援Ⅰ・Ⅱ
	多文化教育Ⅰ・Ⅱ	キャリア体験事前指導(国際)	
		キャリア体験学習(国際)	
	発達・教育キャリア	ビジネスキャリア	ライフキャリア
	キャリア研究調査実習A キャリア研究調査実習B 外書講読A(発達・教育) 外書講読B(発達・教育) 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ 臨床教育相談論Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅢ(ケーススタディ) 教育相談 教育心理学	キャリア研究調査実習C キャリア研究調査実習D 外書講読A(ビジネス) 外書講読B(ビジネス) 職業選択論Ⅱ 人材育成論Ⅰ・Ⅱ 産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ キャリア開発論 リーダーシップ論 経営統計論A(心理データ)	キャリア研究調査実習E キャリア研究調査実習F 外書講読A(ライフ) 外書講読B(ライフ) コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ 家族論 若者文化論 世代間交流論 身体表現論 地域文化論 アイデンティティ論 余暇集団論
	学校論Ⅰ(キャリア形成) 学校論Ⅱ(キャリア形成) 学校論Ⅲ(キャリア教育) 学校論Ⅳ(キャリア教育) 生涯学習論Ⅰ(生涯学習支援論Ⅰ) 生涯学習論Ⅱ(生涯学習支援論Ⅱ) 図書館情報学概論Ⅰ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ 教育マネジメントⅠ・Ⅱ	企業会計論 経営統計論B(企業データ) 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 戦略経営論Ⅰ・Ⅱ 経営分析論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ	NPO論 公共サービス論 アート・マネジメント論 文化経営論 メディア文化論 文化マーケティング論 ブランド創造論 産業文化論 ミュージアム概論 ミュージアム経営論
	教育政策 現代教育思想 生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ) 生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ) 学習の社会史A・B 教育社会学Ⅰ・Ⅱ 教育経済学	職業キャリア論 労働経済学 シティズンシップ論 生産システム論 国際経営論 日本経済論 産業論 広告ビジネス論 マーケティング論 流通・マーケティング戦略論 流通・サービスビジネス論 就業機会発見実務	多文化社会論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際地域研究Ⅰ・Ⅱ
総 合	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキルⅠ・Ⅱ		

演習科目		
演習(発達・教育、ビジネス、ライフ)	卒業論文(発達・教育、ビジネス、ライフ)	キャリアデザイン学総合演習

関連科目				
国際コミュニケーション語学(英語Ⅰ～Ⅴ)	国際コミュニケーション語学(中国語Ⅰ・Ⅱ)	日本語教育概説	多文化社会における日本語教育A～E	スタディ・アプロードⅠ～Ⅳ
就業機会とキャリア特講	地域活性化論	就業応用力養成Ⅰ・Ⅱ	財務会計論Ⅰ・Ⅱ	監査論Ⅰ・Ⅱ
税務会計論Ⅰ・Ⅱ	管理会計論Ⅰ・Ⅱ	原価計算論Ⅰ・Ⅱ	経営分析Ⅰ・Ⅱ	異文化適応論
	市民社会と政治	労働環境法	社会貢献・課題解決教育	教職入門
	教育原理	教育の制度・経営	教育課程論	社会・歴史科教育法
	社会・公民科教育法	商業科教育法	道徳教育指導論	特別活動論
	教育方法論	生徒・進路指導論	図書館演習	図書館制度・経営論
	図書館サービス概論			図書館サービス概論
	児童サービス論	情報サービス論	情報サービス演習	図書館情報資源概論
	図書館情報資源特論	情報資源組織論	情報資源組織演習	学校経営と学校図書館
	博物館実習Ⅰ・Ⅱ	社会教育計画	社会教育演習	社会教育活動Ⅰ・Ⅱ
	職業指導(仕事の場と学び)	現代生活・文化と社会教育Ⅰ・Ⅱ		学校図書館メディアの構成

自由科目					
他学部公開科目	ESOP科目	ERP科目	グローバル・オープン科目	インターン・ボランティア	短期語学研修

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

市ヶ谷基礎科目 カリキュラム表 (2014～2016年度入学用)

	科目名	履修年次	単位数	必要数	備考
0群	リベラルアーツ特別講座	1～4年	2	2単位必修	
	課題解決型フィールドワーク	1～4年	1または2		
	基礎ゼミ	1～4年	2		できる限り1年次で履修すること
	情報処理演習	1～4年	2		2020年度より春学期のみ開講
	日本語の世界Ⅰ	1～3年	2		留学生のみ
	日本語の世界Ⅱ	1～3年	2		
	キャリアデザイン入門	1年	2		
	キャリアデザイン応用	1～4年	2		
	キャリアデザイン演習	1年	2		2018年度より閉講
	就業基礎力養成Ⅰ	1～4年	2		2018年度より閉講
	就業基礎力養成Ⅱ	1～4年	2		2018年度より閉講
	大学を知ろう <法政学>への招待	1～4年	2		2019年度より「法政学への招待」から名称変更
	法政学の探究A	1～4年	2		秋学期開講
	法政学の探究B	1～4年	2		春学期開講
	リベラルアーツ特別実習	1～4年	2		スプリングセッション
1群	文学Ⅰ	1～4年	2	4単位以上	0 ～ 5 群 合 計 で 36 単 位 以 上 (注・卒業要件は専門科目と合計で132単位以上)
	文学Ⅱ	1～4年	2		
	倫理学Ⅰ	1～4年	2		
	倫理学Ⅱ	1～4年	2		
	日本史Ⅰ	1～4年	2		
	日本史Ⅱ	1～4年	2		
	東洋史Ⅰ	1～4年	2		
	東洋史Ⅱ	1～4年	2		
	西洋史Ⅰ	1～4年	2		
	西洋史Ⅱ	1～4年	2		
	哲学Ⅰ	1～4年	2		
	哲学Ⅱ	1～4年	2		
	論理学Ⅰ	1～4年	2		
	論理学Ⅱ	1～4年	2		
	宗教論Ⅰ	1～4年	2		
	宗教論Ⅱ	1～4年	2		
	文章論Ⅰ	1～4年	2		
	芸術Ⅰ	1～4年	2		
芸術Ⅱ	1～4年	2			
2群	法学Ⅰ	1～4年	2	4単位以上	春・秋学期とも開講/1回(2単位)のみ修得可
	法学Ⅱ	1～4年	2		
	法学(日本国憲法)	1～4年	2		
	経済学Ⅰ	1～4年	2		
	経済学Ⅱ	1～4年	2		
	心理学Ⅰ	1～4年	2		
	心理学Ⅱ	1～4年	2		
	地理学Ⅰ	1～4年	2		
	地理学Ⅱ	1～4年	2		
	政治学Ⅰ	1～4年	2		
	政治学Ⅱ	1～4年	2		
	社会学Ⅰ	1～4年	2		
	社会学Ⅱ	1～4年	2		
	文化人類学Ⅰ	1～4年	2		
文化人類学Ⅱ	1～4年	2			
社会思想Ⅰ	1～4年	2			
社会思想Ⅱ	1～4年	2			
3群	教養数学A	1～4年	2	4単位以上	
	教養数学B	1～4年	2		
	基礎数学Ⅰ	2～4年	2		
	基礎数学Ⅱ	2～4年	2		
	原子から宇宙までⅠ	1～4年	2		
	原子から宇宙までⅡ	1～4年	2		
	物質と環境Ⅰ	1～4年	2		
	物質と環境Ⅱ	1～4年	2		
	サイエンス・ラボA	1～4年	2		
	サイエンス・ラボB	1～4年	2		
	生命科学Ⅰ	1～4年	2		
	生命科学Ⅱ	1～4年	2		
	科学史Ⅰ	1～4年	2		
	科学史Ⅱ	1～4年	2		
	天文学Ⅰ	1～4年	2		
	天文学Ⅱ	1～4年	2		
発展数学Ⅰ	2～4年	2			
発展数学Ⅱ	2～4年	2			

※同名科目(同名でもⅠとⅡでは異なる科目です)は、同セメスターで1科目2単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

	科目名	履修年次	単位数	必要数	備考
(必4群)	英語1-I	1年	1	4単位	
	英語1-II	1年	1		
	英語2-I	1年	1		
	英語2-II	1年	1		
4群(選択)必修	ドイツ語1-I	1年	1	いずれかの言語で4単位	
	ドイツ語1-II	1年	1		
	ドイツ語2-I	1年	1		
	ドイツ語2-II	1年	1		
	フランス語1-I	1年	1		
	フランス語1-II	1年	1		
	フランス語2-I	1年	1		
	フランス語2-II	1年	1		
	ロシア語1-I	1年	1		
	ロシア語1-II	1年	1		
	ロシア語2-I	1年	1		
	ロシア語2-II	1年	1		
	中国語1-I	1年	1		
	中国語1-II	1年	1		
	中国語2-I	1年	1		
	中国語2-II	1年	1		
	スペイン語1-I	1年	1		
	スペイン語1-II	1年	1		
	スペイン語2-I	1年	1		
	スペイン語2-II	1年	1		
	朝鮮語1-I	1年	1		
	朝鮮語1-II	1年	1		
	朝鮮語2-I	1年	1		
	朝鮮語2-II	1年	1		
日本語1-I	1年	1			
日本語1-II	1年	1			
日本語2-I	1年	1			
日本語2-II	1年	1			
4群(選択)外国語	Practical English(英語オールラウンド・コミュニケーション)A-I	1~4年	1	0~5群合計で36単位以上(注・卒業要件は専門科目と合計で)	留学生のみ
	Practical English(英語オールラウンド・コミュニケーション)A-II	1~4年	1		
	Practical English(英語オールラウンド・コミュニケーション)B-I	1~4年	1		
	Practical English(英語オールラウンド・コミュニケーション)B-II	1~4年	1		
	English for Study Abroad I	1~4年	1		
	English for Study Abroad II	1~4年	1		
	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A-1	1~4年	1		
	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)A-2	1~4年	1		
	Practical English(英語検定試験対策)A-1	1~4年	1		
	Practical English(英語検定試験対策)A-2	1~4年	1		
	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B-1	1~4年	1		
	Practical English(ビジネス・コミュニケーション)B-2	1~4年	1		
	入門英語 I	1~4年	1		
	入門英語 II	1~4年	1		
	ドイツ語コミュニケーション I	2~4年	1		
	ドイツ語コミュニケーション II	2~4年	1		
	ドイツ語表現法 I	2~4年	1		
	ドイツ語表現法 II	2~4年	1		
	ドイツ語視聴覚 I	2~4年	1		
	ドイツ語視聴覚 II	2~4年	1		
	時事ドイツ語 I	2~4年	1		
	時事ドイツ語 II	2~4年	1		
	検定ドイツ語 I	2~4年	1		
	検定ドイツ語 II	2~4年	1		
スポーツ・ドイツ語 I	1~3年	1			
スポーツ・ドイツ語 II	1~3年	1			
				132単位以上)	市ヶ谷基礎科目4群、必修外国語(英語)に充当も可能 前年度からの連続履修も可能
					SSI生のみ
					SSI生のみ

※同名科目は、同セメスターで1科目1単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

	科目名	履修年次	単位数	必要数	備考
4群 (選択外国語)	フランス語コミュニケーションⅠ	2～4年	1	0 5 群 合 計 で 36 単 位 以 上 (注・卒業要件は専門科目と合計で132単位以上)	
	フランス語コミュニケーションⅡ	2～4年	1		2021年度休講
	フランス語視聴覚Ⅰ	1～4年	1		2021年度休講
	フランス語視聴覚Ⅱ	1～4年	1		
	フランス語視聴覚Ⅲ	2年	1		
	フランス語視聴覚Ⅳ	2年	1		2021年度休講
	時事フランス語Ⅰ	2年	1		
	時事フランス語Ⅱ	2年	1		
	検定フランス語Ⅰ	2～4年	1		2021年度休講
	検定フランス語Ⅱ	2～4年	1		
	情報フランス語Ⅰ	2年	1		2021年度休講
	情報フランス語Ⅱ	2年	1		
	観光フランス語Ⅰ	1～4年	1		2018年度より閉講
	観光フランス語Ⅱ	1～4年	1		
	スポーツ・フランス語Ⅰ	1～3年	1		SSI生のみ、2018年度より閉講
	スポーツ・フランス語Ⅱ	1～3年	1		
	中国語コミュニケーションⅠ	2～4年	1		
	中国語コミュニケーションⅡ	2～4年	1		
	中国語表現法Ⅰ	2～4年	1		
	中国語表現法Ⅱ	2～4年	1		
	中国語視聴覚Ⅰ	2～4年	1		
	中国語視聴覚Ⅱ	2～4年	1		
	検定中国語Ⅰ	2～4年	1		
	検定中国語Ⅱ	2～4年	1		
	スペイン語コミュニケーションⅠ	3～4年	1		
	スペイン語コミュニケーションⅡ	3～4年	1		
	スペイン語講読Ⅰ	2～4年	1		2019年度より閉講
	スペイン語講読Ⅱ	2～4年	1		
	時事スペイン語Ⅰ	2～4年	1		
	時事スペイン語Ⅱ	2～4年	1		
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	2～4年	1		
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	2～4年	1		
	朝鮮語講読Ⅰ	3～4年	1		
	朝鮮語講読Ⅱ	3～4年	1		朝鮮語(4群必修)を修得している場合のみ履修可
	朝鮮語表現法Ⅰ	3～4年	1		
	朝鮮語表現法Ⅱ	3～4年	1		
朝鮮語視聴覚Ⅰ	2～4年	1			
朝鮮語視聴覚Ⅱ	2～4年	1			
日本語コミュニケーションⅠ	2～4年	1			
日本語コミュニケーションⅡ	2～4年	1	留学生のみ、2018年度より閉講		
5群	スポーツ総合演習	1年	2	2単位必修	

※同名科目は、同セメスターで1科目1単位までしか履修できません。また、一度単位を修得した科目は、次セメスター以降重複して履修登録できません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

ILAC (アイラック) 科目/市ヶ谷基礎科目 新旧科目対応表

※単位数や履修年次は、科目一覧で確認して下さい。

2017年度以降入学生				2014～2016年度入学生				備考
群	科目配置	必修選択	授業科目	群	授業科目			
0群	基盤	必修	基礎ゼミ リベラルアーツ特別講座 課題解決型フィールドワーク 情報処理演習	0群	基礎ゼミ リベラルアーツ特別講座 課題解決型フィールドワーク 情報処理演習	2020年度より春学期のみ開講		
		選択	キャリアデザイン入門 キャリアデザイン応用 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ 大学を知ろう <法政学>への招待		キャリアデザイン入門 キャリアデザイン応用 キャリアデザイン演習 就業基礎力養成Ⅰ/Ⅱ 大学を知ろう <法政学>への招待	2017年度で閉講 2017年度で閉講 2019年度より「法政学」への招待から名称変更		
	リベラル	選択	法政学の探究LA ◇ 法政学の探究LB ◇ リベラルアーツ特別実習		法政学の探究A 法政学の探究B リベラルアーツ特別実習	2021年度新規開講		
1群	基盤	選択必修	日本古典文学A ◇ 日本古典文学B ◇ 日本近・現代文学A ◇ 日本近・現代文学B ◇ 日本文学A ◇ 日本文学B ◇ 外国文学A ◇ 外国文学B ◇ 文章論 ◇ 言語学A ◇ 言語学B ◇ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史Ⅰ/Ⅱ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ 芸術A 芸術B	1群	文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文章論Ⅰ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史Ⅰ/Ⅱ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ 芸術Ⅰ 芸術Ⅱ	※1		
		選択必修	日本文学と文化LA/LC/LE/LG ◇ 日本文学と文化LB/LD/LF/LH ◇ 外国文学と文化LA/LC/LE ◇ 外国文学と文化LB/LD/LF ◇ 文学と社会LA/LC/LE ◇ 文学と社会LB/LD/LF ◇ 音声学L ◇ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史LA ◇ 西洋史LB ◇ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ		文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 文学Ⅰ 文学Ⅱ 哲学Ⅰ/Ⅱ 倫理学Ⅰ/Ⅱ 論理学Ⅰ/Ⅱ 東洋史Ⅰ/Ⅱ 西洋史Ⅰ 西洋史Ⅱ 日本史Ⅰ/Ⅱ 宗教論Ⅰ/Ⅱ	2020年度休講 (LE) 2020年度休講 (LF) ※1		
2群	基盤	選択必修	法学Ⅰ/Ⅱ 法学(日本国憲法) 経済学Ⅰ/Ⅱ 心理学Ⅰ/Ⅱ 地理学Ⅰ/Ⅱ 政治学Ⅰ/Ⅱ 社会学Ⅰ/Ⅱ 文化人類学 ◇ 社会思想Ⅰ/Ⅱ	2群	法学Ⅰ/Ⅱ 法学(日本国憲法) 経済学Ⅰ/Ⅱ 心理学Ⅰ/Ⅱ 地理学Ⅰ/Ⅱ 政治学Ⅰ/Ⅱ 社会学Ⅰ/Ⅱ 文化人類学Ⅰ 社会思想Ⅰ/Ⅱ			
		選択必修	経済学LA ◇ 経済学LB ◇ 心理学LA ◇ 心理学LB ◇ 地理学LA/LC ◇ 地理学LB/LD ◇ 政治学LA ◇ 政治学LB ◇ 社会学LA/LC ◇ 社会学LB/LD ◇ 文化人類学L ◇ 社会思想LA ◇ 社会思想LB ◇		経済学Ⅰ 経済学Ⅱ 心理学Ⅰ 心理学Ⅱ 地理学Ⅰ 地理学Ⅱ 政治学Ⅰ 政治学Ⅱ 社会学Ⅰ 社会学Ⅱ 文化人類学Ⅱ 社会思想Ⅰ 社会思想Ⅱ			
3群	基盤	選択必修	教養数学A 教養数学B 基礎数学Ⅰ/Ⅱ 入門物理学A ◇ 入門物理学B ◇ 入門生物学A ◇ 入門生物学B ◇ 入門化学A ◇ 入門化学B ◇ サイエンス・ラボA サイエンス・ラボB 天文学A 天文学B 科学史A 科学史B	3群	教養数学A 教養数学B 基礎数学Ⅰ/Ⅱ 原子から宇宙までⅠ 原子から宇宙までⅡ 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 物質と環境Ⅰ 物質と環境Ⅱ サイエンス・ラボA サイエンス・ラボB 天文学Ⅰ 天文学Ⅱ 科学史Ⅰ 科学史Ⅱ			
		選択必修	数学特講LA ◇ 数学特講LB ◇ 発展数学Ⅰ/Ⅱ ◇ 教養物理学LA ◇ 教養物理学LB ◇ 教養生物学LB/LD/LF ◇ 教養生物学LA/LC/LE ◇ 教養化学IA ◇ 教養化学LB ◇ 教養化学LC 教養化学LD 教養化学LE		教養数学A 教養数学B 発展数学Ⅰ/Ⅱ 原子から宇宙までⅠ 原子から宇宙までⅡ 生命科学Ⅰ 生命科学Ⅱ 物質と環境Ⅰ 物質と環境Ⅱ	2021年度休講 (LE) 2021年度休講 (LE)		

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

4群	リベラル	選択	ドイツの文化と社会LA ◇	総合科目		※1				
			ドイツの文化と社会LB ◇			※1				
			ドイツ語の世界LA ◇			※1				
			ドイツ語の世界LB ◇			※1				
			フランスの文化と社会LA ◇			※1				
			フランスの文化と社会LB ◇			※1				
			フランス語の世界LA ◇			※1				
			フランス語の世界LB ◇			※1				
			フランス生活文化論LA			※1				
			フランス生活文化論LB			※1				
			ロシアの文化と社会LA ◇			※1				
			ロシアの文化と社会LB ◇			※1				
			ロシア語の世界LA ◇			※1				
			ロシア語の世界LB ◇			※1				
			中国の文化と社会LA/LC ◇			※1				
			中国の文化と社会LB/LD ◇			※1				
			中国語の世界LA ◇			※1				
			中国語の世界LB ◇			※1				
			スペイン語の世界LA ◇			※1				
			スペイン語の世界LB ◇			※1				
			朝鮮の文化と社会LA ◇			※1				
			朝鮮の文化と社会LB ◇			※1				
			日本の文化と社会LA ◇			※1				
			日本の文化と社会LB ◇			※1				
			日本語の世界LA ◇			※1				
			日本語の世界LB ◇			※3				
			4群		外国語科目	必修	英語1- I / II	4群	英語1- I / II	
							英語2- I / II		英語2- I / II	
選択	Practical English (オーラル・コミュニケーション)A- I / II	Practical English (オーラル・コミュニケーション)A- I / II								
	Practical English (オーラル・コミュニケーション)B- I / II	Practical English (オーラル・コミュニケーション)B- I / II								
	Practical English (ビジネス・コミュニケーション)A- I / II	Practical English (ビジネス・コミュニケーション)A- I / II								
	Practical English (ビジネス・コミュニケーション)B- I / II	Practical English (ビジネス・コミュニケーション)B- I / II								
	Practical English (英語検定試験対策)A- I / II	Practical English (英語検定試験対策)A- I / II								
	Practical English (英語検定試験対策)B- I / II	Practical English (英語検定試験対策)B- I / II								
	English for Study Abroad I / II	English for Study Abroad I / II								
	入門英語(SSD) I / II	入門英語(SSD) I / II								
	必修	ドイツ語1- I / II		ドイツ語1- I / II						
		ドイツ語2- I / II		ドイツ語2- I / II						
選択	ドイツ語表現法 I / II	ドイツ語表現法 I / II								
	入門ドイツ語(SSD) I / II ◇	スポーツ・ドイツ語I/II								
	検定ドイツ語 I / II	検定ドイツ語 I / II								
	ドイツ語コミュニケーション I / II	ドイツ語コミュニケーション I / II								
	ドイツ語視聴覚 I / II	ドイツ語視聴覚 I / II								
	時事ドイツ語 I / II	時事ドイツ語 I / II								
	フランス語1- I / II	フランス語1- I / II								
必修	フランス語2- I / II	フランス語2- I / II								
	フランス語視聴覚(入門) I / II ◇	フランス語視聴覚I/II		2021年度休講						
選択	フランス語視聴覚(初・中級) I / II ◇	フランス語視聴覚III/IV		2021年度休講						
		スポーツ・フランス語I/II		※2						
		観光フランス語I/II		※2						
	フランス語コミュニケーション(初級) I / II ◇	フランス語コミュニケーションI/II								
	時事フランス語 I / II	時事フランス語I/II								
必修	検定フランス語(初級) I / II ◇	検定フランス語I/II		2021年度休講						
	情報フランス語 I / II	情報フランス語I/II		2021年度休講						
	ロシア語1- I / II	ロシア語1- I / II								
	ロシア語2- I / II	ロシア語2- I / II								
必修	中国語1- I / II	中国語1- I / II								
	中国語2- I / II	中国語2- I / II								
選択	中国語視聴覚初級 I / II ◇	中国語視聴覚I/II								
	中国語作文初級 I / II ◇	中国語表現法I/II								
	中国語コミュニケーション基礎 I / II ◇	中国語コミュニケーションI/II	2021年度休講							
	中国語コミュニケーション初級 I / II ◇	中国語コミュニケーションI/II								
	資格中国語初級 I / II ◇	検定中国語I/II								
必修	スペイン語1- I / II	スペイン語1- I / II								
	スペイン語2- I / II	スペイン語2- I / II								
選択	現代のスペイン語 I / II	時事スペイン語 I / II	2021年度より「時事スペイン語 I / II」より名称変更							
	スペイン語コミュニケーション I / II	スペイン語講読I/II	※2 2019年度より閉講							
必修	朝鮮語1- I / II	朝鮮語1- I / II								
	朝鮮語2- I / II	朝鮮語2- I / II								
選択	朝鮮語3C(コミュニケーション) I / II ◇	朝鮮語コミュニケーションI/II								
	朝鮮語4B(視聴覚) I / II ◇	朝鮮語視聴覚I/II								
	朝鮮語5A(購読) I / II ◇	朝鮮語講読I/II								
	朝鮮語5B(表現法) I / II ◇	朝鮮語表現法I/II								
必修	日本語1- I / II	日本語1- I / II								
	日本語2- I / II	日本語2- I / II								
選択	日本語コミュニケーション I / II	日本語コミュニケーションI/II	※2							
	スポーツ総合演習	スポーツ総合演習								
5群	基盤	必修	スポーツ総合演習	5群						
		選択	スポーツ総合演習S ◇							
5群	リベラル	必修	健康の科学LA ◇	0群						
		選択	健康の科学LB ◇			※1				

※1・・・2017年度以降入学者のみ履修可
 ※2・・・2016年度以前入学者のみ履修可
 ※3・・・2016年度以前入学者は、0群科目として履修
 ◇・・・2017年度以降入学者と2016年度以前入学者で科目名が異なるもの。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

専門科目 カリキュラム表 (2014～2016年度入学者用)

		科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考	
基幹科目	選択必修	BSP200MA	キャリア研究調査法(質的調査)		基幹スキル	1年～	2	2単位以上		
		BSP200MA	キャリア研究調査法(量的調査)		基幹スキル	1年～	2			
	必修	BSP100MA	キャリアデザイン学入門		基幹必修	1年～2年	2	2単位		
		選択必修	BSP100MA	発達・教育キャリア入門A	発達・教育キャリア	基幹入門	1年～	2		一つの領域から8単位以上*1
			BSP100MA	発達・教育キャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	発達・教育キャリア入門C(生涯学習入門Ⅰ)		基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	発達・教育キャリア入門D(生涯学習入門Ⅱ)		基幹入門	1年～	2		
		選択必修	BSP100MA	ビジネスキャリア入門A	ビジネスキャリア	基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	ビジネスキャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	ビジネスキャリア入門C		基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	ビジネスキャリア入門D		基幹入門	1年～	2		
		選択必修	BSP100MA	ライフキャリア入門A	ライフキャリア	基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	ライフキャリア入門B		基幹入門	1年～	2		
			BSP100MA	ライフキャリア入門C		基幹入門	1年～	2		
	BSP100MA		ライフキャリア入門D	基幹入門		1年～	2			
	選択	CAR100MA	労働法		基幹共通	1年～	2	20単位以上		
		BSP100MA	ファシリテーション論		基幹共通	1年～	2			
		BSP100MA	若者の自立支援		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	職業選択論Ⅰ		基幹共通	1年～	2			
		CAR100MA	ライフコース論		基幹共通	1年～	2			
CAR100MA		生活設計論Ⅰ(社会保障)		基幹共通	1年～	2				
CAR100MA		生活設計論Ⅱ(生活設計)		基幹共通	1年～	2				
CAR100MA		キャリアモデル・ケーススタディ		基幹共通	1年～	2				
展開科目	選択必修	BSP200MA	キャリアサポート事前指導		★展開体験	2年～	2	1ペア4単位以上*2		
		BSP200MA	キャリアサポート実習		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	多文化教育Ⅰ		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	多文化教育Ⅱ		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験事前指導		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験学習		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験事前指導(国際)		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	キャリア体験学習(国際)		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅰ		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	メディアリテラシー実習Ⅱ		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	地域学習支援Ⅰ		★展開体験	2年～	2			
		BSP200MA	地域学習支援Ⅱ		★展開体験	2年～	2			
	選択必修	EDU200MA	キャリア研究調査実習A	発達・教育キャリア	展開調査	2年～	2	一つの領域から36単位以上*3		
		EDU200MA	キャリア研究調査実習B		展開調査	2年～	2			
		EDU200MA	外書講読A(発達・教育)		展開外書	2年～	2			
		EDU200MA	外書講読B(発達・教育)		展開外書	2年～	2			
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅰ		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	生涯発達心理学Ⅱ		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	臨床教育相談Ⅰ		発達と学習	2年～	2			
		PSY200MA	臨床教育相談Ⅱ		発達と学習	2年～	2			
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅠ	発達と学習		2年～	2				
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅡ	発達と学習		2年～	2				
PSY200MA		キャリアカウンセリングⅢ(ケーススタディ)	発達と学習		2年～	2				
PSY200MA		教育相談	発達と学習		2年～	2				
PSY200MA		教育心理学	発達と学習		2年～	2				
EDU200MA		学校論Ⅰ(キャリア形成)	学校教育と地域学習		2年～	2				
EDU200MA		学校論Ⅱ(キャリア形成)	学校教育と地域学習		2年～	2				
EDU200MA		学校論Ⅲ(キャリア教育)	学校教育と地域学習		2年～	2				
EDU200MA		学校論Ⅳ(キャリア教育)	学校教育と地域学習		2年～	2				
EDU200MA		生涯学習論Ⅰ(生涯学習支援論Ⅰ)	学校教育と地域学習		2年～	2				
EDU200MA	生涯学習論Ⅱ(生涯学習支援論Ⅱ)	学校教育と地域学習	2年～	2						
FRI200MA	図書館情報学概論Ⅰ	学校教育と地域学習	2年～	2						
FRI200MA	図書館情報学概論Ⅱ	学校教育と地域学習	2年～	2						
EDU200MA	メディア教育論Ⅰ	学校教育と地域学習	2年～	2						
EDU200MA	メディア教育論Ⅱ	学校教育と地域学習	2年～	2						
EDU200MA	教育マネジメントⅠ	学校教育と地域学習	2年～	2						
EDU200MA	教育マネジメントⅡ	学校教育と地域学習	2年～	2						

*1 選択する領域は、*3と同じ領域でなければなりません。

*2 ★印の科目は、ペア前半(Ⅰまたは事前指導等)科目の単位を修得した場合、ペア後半(Ⅱまたは体験科目等)科目の履修登録が可能です。

*3 選択する領域は、*1と同じ領域でなければなりません。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
EDU200MA	教育政策	発達・教育キャリア	教育と社会	2年～	2	一つの領域から36単元以上	展開科目・展開科目 合計72単元以上
EDU200MA	現代教育思想		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	生涯学習論Ⅲ(成人教育論Ⅰ)		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	生涯学習論Ⅳ(成人教育論Ⅱ)		教育と社会	2年～	2		
HIS200MA	学習の社会史A		教育と社会	2年～	2		
HIS200MA	学習の社会史B		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育社会学Ⅰ		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育社会学Ⅱ		教育と社会	2年～	2		
EDU200MA	教育経済学		教育と社会	2年～	2		
MAN200MA	キャリア研究調査実習C	ビジネスキャリア	展開調査	2年～	2	一つの領域から36単元以上	展開科目・展開科目 合計72単元以上
MAN200MA	キャリア研究調査実習D		展開調査	2年～	2		
MAN200MA	外書講読A(ビジネス)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	外書講読B(ビジネス)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	職業選択論Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	人材育成論Ⅰ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	人材育成論Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	産業・組織心理学Ⅰ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	産業・組織心理学Ⅱ		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	キャリア開発論		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	リーダーシップ論		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	経営統計論A(心理データ)		個人・人間	2年～	2		
MAN200MA	企業会計論		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営統計論B(企業データ)		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営組織論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営組織論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	戦略経営論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	戦略経営論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営分析論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	経営分析論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅰ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	アントレプレナーシップ論Ⅱ		集団・組織	2年～	2		
MAN200MA	職業キャリア論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	労働経済学		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	シティズンシップ論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	生産システム論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	国際経営論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	日本経済論		産業社会	2年～	2		
ECN200MA	産業論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	広告ビジネス論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	マーケティング論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	流通・マーケティング戦略論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	流通・サービスビジネス論		産業社会	2年～	2		
MAN200MA	就業機会発見実務	産業社会	2年～	2			
SOC200MA	キャリア研究調査実習E	ライフキャリア	展開調査	2年～	2	一つの領域から36単元以上	展開科目・展開科目 合計72単元以上
SOC200MA	キャリア研究調査実習F		展開調査	2年～	2		
SOC200MA	外書講読A(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	外書講読B(ライフ)		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅰ		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	コミュニティ社会論Ⅱ		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	家族論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	若者文化論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	世代間交流論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	身体表現論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	地域文化論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	アイデンティティ論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	余暇集団論		自己・他者・関係	2年～	2		
SOC200MA	NPO論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	公共サービス論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	アート・マネジメント論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	文化経営論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	メディア文化論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	文化マーケティング論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	ブランド創造論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	産業文化論		文化マネジメント	2年～	2		
CUM200MA	ミュージアム概論		文化マネジメント	2年～	2		
CUM200MA	ミュージアム経営論		文化マネジメント	2年～	2		
SOC200MA	多文化社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
SOC200MA	多文化社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
SOC200MA	多文化社会論Ⅲ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	アジア社会論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	アジア社会論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	国際関係論Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	国際関係論Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	国際地域研究Ⅰ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
ARSx200MA	国際地域研究Ⅱ		多文化・グローバル社会	2年～	2		
CAR200MA	就業機会とキャリア				2年～		
CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅠ			2年～	2		
CAR200MA	職業能力ベーシックスキルⅡ			2年～	2		

*3 選択する領域は、*1と同じ領域でなければなりません。

*4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

	科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数	備考
演習科目	選択	EDU200MA	演習(発達・教育)		2年～	各2		2年秋学期より履修可
		MAN200MA	演習(ビジネス)		2年～	各2		10単位まで履修可
		SOC200MA	演習(ライフ)		2年～	各2		*3
		EDU400MA	卒業論文(発達・教育)		4年	4		
		MAN400MA	卒業論文(ビジネス)		4年	4		*3
		SOC400MA	卒業論文(ライフ)		4年	4		
		OTR400MA	キャリアデザイン学総合演習		3～4年	2		
関連科目	選択	LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅰ)		1年～	1		市ヶ谷基礎科目4群(必修外国語<英語>)に充当も可能
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅱ)		1年～	1		
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅲ)		1年～	1		
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅳ)		1年～	1		
		LANe100MA	国際コミュニケーション語学(英語Ⅴ)		1年～	1		
		-	国際コミュニケーション語学(中国語Ⅰ)		1年～	1		2017年度以降閉講
		-	国際コミュニケーション語学(中国語Ⅱ)		1年～	1		2017年度以降閉講
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅠ		2年～	4		
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅡ		2年～	4		
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅢ		2年～	4		
		LANe200MA	スタディ・アブロードⅣ		2年～	4		
		CAR200MA	就業機会とキャリア特講		2年～	2		
		CAR200MA	地域活性論		2年～	4		2021年度休講
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅰ		3年～	2		
		CAR300MA	就業応用力養成Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	財務会計論Ⅰ		3年～	2		経営学部主催科目 *4 会計の基礎知識を備えていることが 受講の条件として指定されている科目 が多いのでシラバスをよく読むこと。
		MAN300MA	財務会計論Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	監査論Ⅰ		3年～	2		
		MAN300MA	監査論Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	税務会計論Ⅰ		3年～	2		
		MAN300MA	税務会計論Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	管理会計論Ⅰ		3年～	2		
		MAN300MA	管理会計論Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	原価計算論Ⅰ		3年～	2		
		MAN300MA	原価計算論Ⅱ		3年～	2		
		MAN300MA	経営分析Ⅰ		3年～	2		
		MAN300MA	経営分析Ⅱ		3年～	2		
		SOC100MA	異文化適応論		1年～	2		2021年度休講
		SOC200MA	市民社会と政治		1年～	2		人間環境学部主催科目 *4
		CAR200MA	労働環境法		2年～	2		人間環境学部主催科目 *4
		CAR300MA	社会貢献・課題解決教育		3年～	4		2021年度休講、2022年度以降閉講
		EDU100MA	教職入門		1年～	2		教職課程「教職に関する科目」 教職課程の履修方法やシラバスは 別冊「教職課程履修要綱」を見る こと。
		EDU100MA	教育原理		1年～	2		
		EDU100MA	教育の制度・経営		1年～	2		
		EDU200MA	教育課程論		2年～	2		
		EDU200MA	社会・地歴科教育法		2年～	4		
		EDU200MA	社会・公民科教育法		2年～	4		
		EDU200MA	商業科教育法		2年～	4		
		EDU200MA	道徳教育指導論		2年～	2		
		EDU200MA	特別活動論		2年～	2		
		EDU200MA	教育方法論		2年～	2		
		EDU200MA	生徒・進路指導論		2年～	2		
		FRI200MA	図書館演習		2年～	4		資格課程科目 各資格課程(図書館司書・司書教 諭、博物館学芸員、社会教育主 事)の履修方法やシラバスは別冊 「資格関係科目履修要綱」を見る こと。
		FRI200MA	図書館制度・経営論		2年～	2		
		FRI200MA	図書館サービス概論		2年～	2		
		FRI200MA	児童サービス論		2年～	2		
		FRI200MA	情報サービス論		2年～	2		
		FRI200MA	情報サービス演習		2年～	4		
		FRI200MA	図書館情報資源概論		2年～	2		
		FRI200MA	図書館情報資源特論		2年～	2		
FRI200MA	情報資源組織論		2年～	2				
FRI200MA	情報資源組織演習		2年～	2				
FRI200MA	学校経営と学校図書館		2年～	2				

*3 選択する領域は、*1と同じ領域でなければなりません。

*4 試験・休講・教室変更等の諸連絡については各学部の掲示板を見ること。

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

		科目ナンバリング	科目名	領域	区分	受講学年	単位数	必要数			備考
関連科目	選択	FRI200MA	学習指導と学校図書館			2年～	2				資格課程科目 各資格課程（図書館司書・司書教諭、博物館学芸員、社会教育主事）の履修方法やシラバスは別冊「資格関係科目履修要綱」を見ること。
		FRI200MA	読書と豊かな人間性			2年～	2				
		FRI200MA	情報メディアの活用			2年～	2				
		FRI200MA	学校図書館メディアの構成			2年～	2				
		CUM100MA	ミュージアム資料論			1年～	2				
		CUM100MA	ミュージアム教育論			1年～	2				
		CUM100MA	ミュージアム資料保存論			1年～	2				
		CUM100MA	ミュージアム展示論			1年～	2				
		CUM100MA	ミュージアム情報・メディア論			1年～	2				
		CUM200MA	博物館実習Ⅰ			2年～	2				
		CUM200MA	博物館実習Ⅱ			2年～	2				
		EDU200MA	社会教育経営論			2年～	4				
		EDU200MA	社会教育演習			2年～	4				
		EDU200MA	社会教育活動Ⅰ			2年～	2				
		EDU200MA	社会教育活動Ⅱ			2年～	2				
		EDU200MA	職業指導（仕事の場と学び）			2年～	4				
		EDU200MA	現代生活・文化と社会教育Ⅰ			2年～	2				
EDU200MA	現代生活・文化と社会教育Ⅱ			2年～	2						
自由科目	-	他学部公開科目				2年～				16単位まで履修可	
	-	ESOP科目 *5				1年～					
	-	ERP科目 *5				1年～					
	-	グローバル・オープン科目				1年～					
	-	「国際インターン」・「国際ボランティア」 *5*6				1年～	各1				
	-	短期語学研修 *5*6				1年～	2				

* 5 グローバル教育センター設置科目です。参加後に必要手続きを経て単位認定を行います。

* 6 履修登録上限単位数の対象外となります。

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

1. ILAC 科目の紹介

1. ILAC 科目修得により目指すもの

ILAC 科目は、人文科学・社会科学・自然科学・情報科学・外国語・保健体育・キャリアデザインなどの各分野をバランスよく学ぶことによって、社会や世界で活躍するために必要な、幅広い知識や柔軟な思考法、自主的に課題を発見しそれを解決する力や文章作成能力、他者との円滑なコミュニケーション能力など、真の意味での「教養」を身につけるために開設されています。基礎力を養成する基盤科目から、応用・発展的なリベラルアーツ科目、専門性の高い総合科目など、段階に応じて多様で体系的な学修が可能となります。

2. ILAC 科目のカリキュラムについて

各科目には次のような番号（ナンバリング）が付されています。これは「学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系的性を明示するための仕組み」です。

100 番台には、基盤科目・外国語科目・選択基盤科目が設置されています。大学生としての基本的な学問への臨み方、および各分野の知識・考え方を身につけ、大学4年間の学習の土台づくりを行うことを目的としています。

200 番台には、リベラルアーツ科目と外国語科目が設置されています。リベラルアーツ科目では、基盤科目の内容をさらに発展、または専門的にした授業が開講されており、皆さんの興味に応じて、教養を深め、視野を広げることができます。また、外国語科目では、1年次に履修した語学のスキルや教養としての外国語をさらに向上させます。

300 番台には、総合科目・教養ゼミが設置されています。100番台・200番台の科目の学びをさらに発展させ、真のリベラルアーツの修得を目的としています。少人数で開講される教養ゼミでは、教員や受講生との議論・学び合いを行うことができます。

移り変わりの激しい時代を生きる私たちには、学問の壁を越えて、柔軟な発想で知識・考え方を取り入れ、直面する問題を打開し、自由な世界を切り開いていくことが必要です。リベラルアーツとは単に教養科目を意味するものではなく、自由な世界を切り開く知識・考え方、それを修得する力を示します。真のリベラルアーツを、ILAC 科目で修得していきましょう。

科目名称	基盤科目	外国語科目	選択基盤科目	リベラルアーツ科目	外国語科目	総合科目・教養ゼミ
分野	1・2・3・5群の科目	4群（英語、諸外国語）の必修科目	0群の科目	0～5群の科目	4群 ・必修外国語 ・選択必修外国語（英語か諸外国語） ・選択外国語	0～5群の科目
科目	日本古典文学A/B 社会学 I / 入門生物学A/B 等	English1 I / II English2 I / II 〇〇語1 I / II 〇〇語2 I / II	基礎ゼミ 情報処理演習 I キャリアデザイン入門 法政学への招待 等	日本史 I / II 地理学 LA/LB フランスの文化と社会 LA/LB 健康の科学 LA/LB 等	English3 I / II ビジネス・イングリッシュ I / II 〇〇語3 I / II 〇〇語4 I / II 中国語コミュニケーション基礎 I / II 等	美術論A/B 人間行動学A/B 相対性理論と宇宙A/B 教養ゼミ（各教養ゼミごとにテーマあり）など
概要	教養（リベラルアーツ）・専門学部の学びの基盤となる、人文科学・社会科学・自然科学のそれぞれの学問分野における基礎的な知識と基本的な考え方、および保健体育科目をバランス良く学びます。	大学の初年次生として必要な基礎的な語学力を養うと同時に、異文化や世界的情勢への理解を深めるため、英語をはじめ諸外国語（ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語）をバランス良く学びます。	既存の学問分野にとらわれない汎用性のある知識や技能を身につけるため、基礎ゼミや情報処理、就業力育成など、初年次に修得すべき科目を学びます。法政学では法政大学の歴史や現状について学びます。	基盤科目で修得した基礎的な知識の上に、さらに深い教養を身につけます。各学問分野をより高度に、バランス良く修得するとともに、専門科目の枠組みに縛られず、体系的・学際的に学びます。	学生の選択に基づき、より高度な語学力や異文化理解力の向上を目指し、現代のグローバル社会に適用する国際感覚を養います。英語・ドイツ語・フランス語・ロシア語・中国語・スペイン語・朝鮮語・日本語の全てが開講されています。	リベラルアーツ科目と連動した発展的な学びから、単独で完結する学びまで、多様な科目を配置し、真のリベラルアーツの修得を目指します。教養ゼミではゼミナール形式で、学部専門科目とは異なる高度な学びを実現します。
年次	100番台 ※1 (1年次以上)		200番台 ※2 (1・2年次以上)		300番台 ※3 (2年次以上)	

※1 100 番台・・・主として基礎的な内容の科目を意味しています。

※2 200 番台・・・主として応用的な内容の科目を意味しています。

※3 300 番台・・・主として発展的な内容の科目を意味しています。


3. ILAC 科目 100 番台～300 番台 / 0 群～5 群の履修について

ILAC（アイラック）科目は半期（春学期・秋学期）ごとに授業を完結する Semester 制を採用しており、科目名の後に「I/II」、「A/B/C/D・・・」と表記します。成績評価は半期ごとに出され、単位を修得していきます。科目名称によって、以下のような特徴があります。履修計画の参考としてください。

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

- (1) 「Ⅰ/Ⅱ」とは、連続履修することで、より理解が深まるとされる科目を示しています。ⅡについてはⅠを履修していることが前提となっている科目もあるので、履修登録前に、必ずWEBシラバスで確認してください。特に外国語科目（必修および選択科目）は、原則としてⅠ/Ⅱを連続履修することが前提とされていますので、注意が必要です。
- (2) 「A/B/C/D・・・」とは、「Ⅰ/Ⅱ」のように履修の順次性を問わない科目を示しています。例えば、「〇〇学A」と「〇〇学B」では、「〇〇学B」は必ずしも「〇〇学A」の履修を前提としていません。「〇〇学A」と「〇〇学B」とで、異なる分野の学習を通じて、相互の理解を深めることができます。
- (3) リベラルアーツ科目は、科目名の後に「L」が付きます（例：□□学LⅠ/LⅡ、△△論LA/LB/LC/LD等）。これは、基盤科目との違いを明示するものです。リベラルアーツ科目には、基盤科目を履修していることが前提になっている科目もあります（例：倫理学LⅠは、倫理学Ⅰの内容をさらに発展させて学ぶ）。履修登録前に、WEBシラバスで必ず確認し、計画的な学習を心掛けてください。
- (4) 単位を修得した同名科目を再度履修することはできません。ただし、ⅠとⅡ、AとB、AとLA等は異なる科目です。例えば、〇〇学Aと〇〇学LAであれば、どちらも履修することができます。また、総合科目でテーマ別に複数開設している「教養ゼミⅠ/Ⅱ」についても、科目名は共通のため、在学中に一度しか履修できません。科目名称のルールを理解し、計画的に履修してください。なお、以降の説明では、特別な場合を除き「Ⅰ」「Ⅱ」（または「Ⅲ」「Ⅳ」）等の記述を省きます。

市ヶ谷リベラルアーツセンターでは、カリキュラム・マップおよびカリキュラム・ツリーを作成しています。以下から確認することができますので、履修の際には、本冊子、WEBシラバスとあわせて、ぜひ参考にしてください。

カリキュラム・マップ	ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目と学習到達目標の相関関係を表で示したもの	
カリキュラム・ツリー	学習目標を達成するために、ILAC 科目／市ヶ谷基礎科目・総合科目がどの分野、年次に配当されているかなどを図で示したもの	

URL : <http://www.hoseikyoku.jp/ilac/index.html>

4. 各分野の概要について

(1) ILAC 科目 0 群（導入・入門系科目）

ILAC 科目 0 群を開設する目的は、ILAC 科目の 1 群から 5 群までの科目の履修を容易にするため、それらの導入部を学び、基本的な知識を備えるためです。

- ・「大学を知ろう <法政学>への招待」（2018 年度まで「法政学への招待」）、「法政学の探究」は法政大学の歴史と現状を知ること、本学で学ぶことの意義を考え、より深い理解を得るための科目です。
- ・「キャリアデザイン入門」「キャリアデザイン応用」は、「大学生が『就業力』を身につけるために、授業で何をどのように学ぶべきか」を目的に編成された科目です。卒業後に働くことを考えたとき何を大学時代に学んでおけばいいのか、深く考える仕組みを授業に取り入れています。

(2) ILAC 科目 1 群（人文科学分野）

1 群の科目は、文化全般をその研究対象とし、さらに、文化を創り出す人間とは何か、という研究課題をもっています。そのため、研究対象と講義内容は、多岐にわたります。

基本となるのは、「文学」「歴史」「哲学」の 3 分野といえます。文学では、日本の古典・近現代文学を始め、中国古典文学や西欧文学の講義を開講しています。哲学や歴史についても同様に、日本・東洋・西洋それぞれの専門の教員による講義が設置されており、さらに論理学・倫理学・言語学・文章論・宗教学・芸術なども含むさまざまな分野の教員による講座を開講しています。

以上の科目は「人文科学」と呼ばれ、古来教養の根幹をなす学問分野です。これらの科目を受講することを通し

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

て、幅広い知見を身につけるとともに、過去を学ぶことによって現在を考察し、さらには未来を展望する能力をつけることが狙いとなります。

(3) ILAC 科目 2 群 (社会科学分野)

2 群の開講科目は、「法学」「政治学」「経済学」「社会学」「心理学」「地理学」「文化人類学」「社会思想」の 8 分野です。

これらの科目は、いずれも、人間社会のさまざまな側面を、それぞれ独自の視角や方法によって分析・検討するものです。各科目では、それぞれの分野の基本的な知識や視点を学ぶことで、人間社会のさまざまな現象を理解するための基礎的な教養と知見を身につけます。それと同時に、特にリベラルアーツ科目を通じてそれぞれの分野が築き上げてきた理論や手法を学ぶことで、専門的・発展的な問いを考えていくための思考力・洞察力を養います。

学生のみなさんには、それぞれの科目を通じて、自分がそのなかの一員である社会について理解を深めて、人間社会のさまざまな現象や問題について考える基礎としてほしいと思います。

(4) ILAC 科目 3 群 (自然科学分野)

3 群は、さまざまな自然科学の授業によって構成されています。

基盤科目では、自然科学の学習に必要な基礎的知識を習得します。リベラルアーツ科目では、さまざまなテーマを発展的に学習します。さらに、専門科目である総合科目や教養ゼミを通して、それらのテーマをより深く探求できるようなカリキュラム構成となっています。

基盤科目は、「教養数学」「基礎数学」「入門物理学」「入門化学」「入門生物学」「天文学」「科学史」および「サイエンス・ラボ」からなる選択必修科目です。いずれも、文科系の初学者にもわかりやすく学ぶことができるよう工夫されています。

リベラルアーツ科目は、「数学特講」「発展数学」「教養物理学」「教養化学」および「教養生物学」からなる選択必修科目です。各自の興味に合わせて発展的な学習を行ってください。

なお、基礎数学および発展数学は順次性のある科目です。I→IIの順に履修することが望まれます。

3 群の履修を通して、学生の皆さんが自然科学そのものに興味を持つだけでなく、自然科学を通したものの見方を習得し、各自の専門分野における学習・研究に役立てることが期待されています。

(5) ILAC 科目 4 群 (外国語科目)

必修外国語は卒業所要単位です。選択科目の外国語関係科目も、修得すれば卒業所要単位に含めることができ、なるべくあわせて履修することが望まれます。また、他学部公開科目にある総合科目の中にはさまざまな外国語関係科目があり、履修・修得すれば、専門科目としての単位になります。なお、他に、専門科目の関連科目群に含まれる選択科目の国際コミュニケーション語学があります。4 群の科目ではありませんが、4 群の選択科目の外国語関係科目と、体系的な履修ができるようになっています。

a. 英語

ILAC 科目の「英語」では、高校までに身につけた運用能力をさらに伸ばすとともに、世界の多様な文化に対する理解を深め、批判的思考能力を涵養します。

b. 諸外国語

<各外国語科目の授業内容等について>

各外国語科目（英語および諸外国語）の授業の目的や目標、各年次で履修する授業内容、履修パターンなどについて、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板 (<https://hosei-keiji.jp/ilac/gaikokugo2021/>) にて紹介しています。また、英語については、選択科目、総合科目、グローバル・オープン科目のレベルも掲載していますので、必ず確認してください。

「諸外国語」は、それぞれの言語を学びながら、その言語が用いられている地域の歴史・文化・生活に接し、理解を深めることを目的に開講されています。

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

外国語科目は、必修諸外国語（人間環境学部は1・2年次、キャリアデザイン学部は1年次）と選択外国語、さらにリベラルアーツ科目と総合科目から構成されています。

必修諸外国語では、大学で新しく出会う外国語の基礎を1年次に学び、その基礎力を用いて2年次にさらなる学習を続けます。

選択外国語には、表現や視聴覚といったコミュニケーション能力を訓練する科目や、時事問題や語学能力検定といった実践的な語学運用能力を身につける科目など、言語ごとにバラエティ豊かな科目が設置され、語学力の修得とともに生きた外国語の世界に触れることができます。

リベラルアーツ科目には、1年次から履修できる「〇〇語の世界L」という入門のための科目があります。2年次から履修できる「〇〇の文化と社会L」では、その言語が話される地域の文化や生活をより広く深く学ぶことができます（「フランスの文化と社会L」のみ1年次から履修できます）。

総合科目では、それまでに学習した外国語の能力を十分に生かしつつ、より高度で専門的な内容を学んでいきます。さらにもうひとつの外国語の世界に触れてみたい学生のために「第三外国語としての〇〇語」という科目もあります。

このように、法政大学では、とても多彩な外国語の世界がみなさんを待っています。

なお、選択外国語科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

(※) 総合科目…人間環境学部・キャリアデザイン学部生は、2年次以上で他学部公開科目として履修します。

公開科目のうち、人間環境学部・キャリアデザイン学部生のみ履修可能な科目もあります。積極的に履修してください。詳しくは、WEBシラバスを確認してください。

(6) ILAC 科目 5 群 (保健体育分野)

スポーツ総合演習は、すべて週に1回、半期の科目であり、①「クラス指定」の科目と②「自由に選択履修」できる科目の二つの形式で開講されています。

①は必修科目で、原則学部・学科・所属クラスを単位として構成され、指定された学期・曜日・時限の科目のみ履修することができます。②は選択科目で、いずれの科目も履修に際しての制限はありませんが、履修希望者が履修可能定員を超えた科目については事前のガイダンスにおいて抽選で履修可能者を決定します。卒業のためには、上記のいずれかの形式で2単位を取得することが必須となりますが、5群の単位としては①、②の授業を各1回、計4単位を上限として履修・取得することが認められています。

この科目は、数種目のスポーツ・身体活動を教材とした演習や講義等で構成され、授業中の活動に対する参画状況や授業態度等に加え、試験やレポート等の評価を総合的に判定して単位を授与することになります。

スポーツ総合演習の詳細については、学部ガイダンスの際に説明します。また、2年次以降にも5群の科目を履修することができます。詳細は学部ガイダンスや履修の手引きを参照してください。

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

II. ILAC科目／市ヶ谷基礎科目の履修上の注意

1. 共通事項

(1) ILAC科目/市ヶ谷基礎科目の再履修について（概要）

以下は、ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目の再履修に関する概要です。詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板「ILAC 科目/市ヶ谷基礎科目の「再履修」について」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/sairishu2021/>)を確認してください。

0～3群 【選択/選択必修】	「ILAC／市ヶ谷基礎科目・総合科目時間割表」の中から、不足する単位を満たすよう履修してください。必ずしも修得できなかった科目（D または E 評価の科目）を履修する必要はありません。
4群【必修】 (外国語科目)	外国語科目の再履修方法については、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板「4群（外国語）科目 再履修ガイド」(https://hosei-keiji.jp/ilac/sairishu2021/)を確認してください。所属学部学科・入学年度によって再履修方法が異なります。対象の再履修ガイドを確認してください。
5群【必修】 (体育科目)	再履修クラスを履修します。希望者は事前に受講希望を申請する必要があります。申請期間や申請方法等の詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板「5群（体育）科目の履修について」(https://hosei-keiji.jp/ilac/taiiku2021/)で案内しますので、必ず確認してください。

(2) 受講者数に定員のある科目について

春学期 1 回目の授業に出席し、担当教員の受講許可を得てください。選抜を行う場合、方法は教員が指示します。許可された学生のみ履修登録できます。詳細は、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板「ILAC/市ヶ谷基礎科目・総合科目の抽選・選抜結果について」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/senbatukekka2021/>)で確認してください。

※春学期のみ、秋学期のみ履修を希望する場合も、必ず春学期の 1 回目の授業で教員にその旨を申し出て、受講の許可を受けてください。

2. 0群（導入・入門系科目）の履修について

- (1) 「基礎ゼミ」は、受講学部・学科を優先するものがあるので、時間割やシラバスに注意してください。
- (2) 「大学を知ろう <法政学>への招待」は、2018 年度までに「法政学への招待」の単位を修得済みの場合は履修できません。
- (3) 「キャリアデザイン入門」は、1 年次のみ履修可能です。
- (4) 「キャリアデザイン応用」は、2017 年度までに「就業基礎力養成Ⅰ」の単位を修得した方は履修できません。

	2017 年度までに 就業基礎力養成Ⅰの 単位を修得済み	2017 年度までに 就業基礎力養成Ⅱの 単位を修得済み	2017 年度までに キャリアデザイン演習 の 単位を修得済み
キャリアデザイン応用	×履修できません	○履修できます	○履修できます

3. 1群（人文科学分野）・2群（社会科学分野）・3群（自然科学分野）の履修について

- (1) 1 年次生が履修する場合は、学部・学科・クラス等の指定があります。2～4 年次生は学部・学科・クラスの指定はありません。「ILAC/市ヶ谷基礎科目時間割」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/timeschedulematome2021/>)を確認し、履修してください。
- (2) 「教養数学 A・B」は 1 年次生以上が履修可能です。「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」は 2 年次生以上が履修可能です。なお、2015 年度までに「数学、情報を読むためにⅠ」の単位を修得済みの場合は「教養数学 A」を、「数学、情報を読むためにⅡ」を履修し単位修得済みの場合は「教養数 B」を履修することはできません。

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

(3) 「サイエンス・ラボA」「サイエンス・ラボB」は実験授業のため定員制です。そのため、履修登録前に仮登録が必要です。仮登録の詳細については、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板 (<https://hosei-keiji.jp/ilac/risyuu2021/>) を参照してください。なお、2015 年度までに「自然総合講座 A」または「自然総合講座 B」(あるいは両方) を履修し単位修得済みの場合は、「サイエンス・ラボA」「サイエンス・ラボB」のいずれも履修できません。

(4) 大人数授業の抽選について 【注意：履修登録期間前に情報システムで抽選を実施】

1~3 群のうち、一部の大人数授業は、履修登録期間前に情報システム上で抽選を実施し、履修者を決定します。履修を希望する場合は、対象授業や申請方法等の手続きの詳細について「大人数授業抽選ガイド」(<https://hosei-keiji.jp/ilac/rishuguide2021/>) を必ず確認してください。

4-2. 4 群 (外国語科目) の履修について 【2016 年度以前入学生】

(1) 必修外国語科目 (4 群必修科目)

「英語」と諸外国語の「ドイツ語」、「フランス語」、「ロシア語」、「中国語」、「スペイン語」、「朝鮮語」、「日本語」(留学生のみ) のうちから一つの合計 2 言語を学びます。1 年次に英語 (4 単位) と英語以外の諸外国語 (4 単位) の計 8 単位を履修します。

- a. 必修外国語はクラス指定があります。それぞれ指定されたクラスで履修してください。
- b. 英語は、習熟度別クラス編成を行っています。1年次にELPA英語プレースメントテストαが2回(入学前・1月)行われ、入学前に実施するELPA英語プレースメントテストαのスコアでみなさんの必修英語のクラスを決定します。必ず受験してください。
- c. 4 群 (外国語) の必修単位は 8 単位です。1 年次で 2 言語をそれぞれ週 2 回・年間 8 単位履修します。ただし、SSI 生は英語 4 単位以上が必修です。
- d. SSI 生は指定されたクラスで「英語1-I・II」、「英語2-I・II」を履修するか、SSI 生用の授業「入門英語I・II」を履修するか、いずれの方法でも単位修得は可能です。ただし、教員免許を取得する場合には、「英語1-I・II」、「英語2-I・II」を 2 単位以上履修する必要があります。
- e. 3 年次までに 8 単位以上 (SSI 生は英語 4 単位以上) を修得しなければなりません、できるだけ 2 年次までに履修を終えるようにしてください。
- f. 入学時に選択した諸外国語は、途中から他の外国語に変更することはできません。

科目		科目名	必修単位	
SSI・留学生 以外の学生	英語	英語 1-I・II	4 単位以上	3 年次までに 8 単位以上修得
		英語 2-I・II		
	諸外国語	〇〇語 1-I・II	4 単位以上	
		〇〇語 2-I・II		
SSI 生	英語 右記より 4 単位以上選 択	英語 1-I・II	4 単位以上	3 年次までに 4 単位以上修得
		英語 2-I・II		
		入門英語 I・II		
留学生	英語	英語 1-I・II	4 単位以上	3 年次までに 8 単位以上修得
		英語 2-I・II		
	日本語	日本語 1-I・II	4 単位以上	
		日本語 2-I・II		

(2) 外国語選択科目 (4 群選択外国語)

必修外国語以外に、次の外国語選択科目があります。いずれも、4 群選択外国語科目に集計されます。また、英語の選択科目は必修英語科目に充当することができます。

英語の選択科目

英語の 4 群選択科目には次の科目があります。

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I/II、Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I/II、Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I/II、Practical English (ビジネス・

学生証番号の頭 2 桁が「16」以前の方

コミュニケーション) B- I / II、Practical English (英語検定試験対策) A- I / II、Practical English (英語検定試験対策) B- I / II、English for Study Abroad I、English for Study Abroad II

いずれも定員は約25名で、履修年次は1～4年次です。Aは初級、Bは中級です。English for Study Abroad I / IIを除き、Iは春学期、IIは秋学期に開講されます。English for Study Abroad I / IIは外国に留学する場合の科目で、I / IIとも春学期に開講されます。

キャリアデザイン学部の留学制度 (Study Abroad) については2021年度キャリアデザイン学部履修の手引の「留学」項目を参照してください。

諸外国語の選択科目

英語以外の外国語についても、必修外国語の他にさらに諸外国語を学びたい学生のために選択外国語があります。

「ドイツ語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「時事ドイツ語」「検定ドイツ語」などがあります。「フランス語」には、「コミュニケーション」「視聴覚」「時事フランス語」「検定フランス語」などがあります。「中国語」には、「コミュニケーション」「表現法」「視聴覚」「検定中国語」などがあります。「スペイン語」には、「コミュニケーション」「時事スペイン語」などがあります。「朝鮮語」には、「コミュニケーション」「講読」「表現法」「視聴覚」などがあります。入学時に希望した諸外国語の選択科目のみ履修が可能です。留学生は日本語の選択科目のみ履修可能です。

なお、選択科目のテキストは、担当教員より受講が許可されてから購入してください。

- a. 春学期、秋学期を合わせて通年で履修 (同一科目の I と II を連続して履修) することが原則となります。II (秋学期) のみを履修する授業であっても、その II に対応する I の科目の 4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、受講許可を得て、9 月に履修登録を行ってください。受講許可を得る時には、必ず同一科目を I・II (春学期 + 秋学期) とも履修するのか、それとも I (春学期) あるいは II (秋学期) のみ履修するのかを、4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、担当教員に申し出てください。
- b. 各科目 (秋学期科目含む) とも、必ず 4 月の春学期 1 回目の授業に出席し、担当教員から受講許可を得てください。 選抜を行う場合もあります。受講が許可された場合のみ履修登録が可能です。選抜を行った場合、学習支援システムの各授業ページにて担当教員より発表します。

※選抜方法等の詳細については、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB 掲示板 (<https://hosei-keiji.jp/ilac/senbatukekka2021/>) で確認してください。

(3) 国際コミュニケーション語学 (専門科目)

市ヶ谷基礎科目 4 群の選択外国語科目の他に、英語について専門科目の関連科目の国際コミュニケーション語学があります。

国際コミュニケーション語学の英語は、国際コミュニケーション語学・英語 I / II (中級オーラル)、国際コミュニケーション語学・英語 III / IV (中級～上級オーラル)、国際コミュニケーション語学・英語 V (中級ライティング) があります。いずれも定員が25名で履修年次が1～4年次です。国際コミュニケーション語学「英語」については、市ヶ谷基礎科目 4 群の必修外国語の「英語」に単位の代替が可能です。

5. 5 群 (体育科目) の履修について

(1) 科目名・履修年次・単位

必修/選択	科目名 (系列)	履修年次	単位	備考
必修科目	スポーツ総合演習	原則として 1 年次に履修	2 単位	3 年次修了までに必ず修得する必要があります。
選択科目	スポーツ総合演習 S <2017 年度以降入学生> スポーツ総合演習 <2016 年度以前入学生>	1～4 年次	2 単位	必修ではありません。2 単位まで履修できます。 修得した単位は ILAC 科目/基礎科目の単位として卒業所要単位に計上されます。

(2) 内容

体育についての演習 (講義および実技)

学生証番号の頭2桁が「16」以前の方

(3) 授業形態・実施場所・期間

授業形態	授業期間	種目	場所
通常授業	春学期または秋学期	複数の種目の複合	①市ヶ谷総合体育館 ②富士見坂校舎体育館

(4) 保健体育ガイダンス（保健体育時間割の説明・受講授業の決定・仮登録）

保健体育ガイダンスについては、市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB掲示板「5群（体育）科目の履修について」（<https://hosei-keiji.jp/ilac/taiiku2021/>）にて案内しますので、確認してください。

特に、必修科目の再履修や選択科目の履修を検討している学生は、履修登録の前に別途事前申請による授業参加許可を得る必要があるため、必ず上記ページを確認の上、所定の期間に手続きをしてください。

(5) 履修登録

a. 新入生の必修科目

Webの申請画面に事前登録されるので各自でWeb履修登録を完了してください。

b. 選択科目の履修

c. 必修科目の再履修

クラス人数に限界があるため、履修登録（Web）の前に別途事前申請の上、授業参加許可を得る必要があります。市ヶ谷リベラルアーツセンターWEB掲示板で授業参加の可否をを公表しますので、そちらを確認の上、各自でWeb履修登録を完了してください。

(6) 健康診断

大学実施の健康診断を必ず受けてください。

(7) 体育会活動による単位習得

授業の受講に代えて、体育会（準加盟部は除く）の活動により、5群科目の単位を修得することができます。希望者は、学部によって登録方法などが異なるので、各学部の履修要項や案内等をよく確認し、所定の手続きに従い申請してください。ただし、この制度を実施していない学部もあるので注意してください。

- ・体育会活動による単位の修得は体育会での1年間の活動で2単位です。
- ・在学中に体育会活動によって修得できる単位の上限は2単位です。

(8) 体育科目に関する連絡

体育科目に関わる連絡は、法政ポータルサイト（Hoppii）からアクセスするWeb掲示板、市ヶ谷総合体育館1F掲示板で行います。

(9) 心身の状態についての相談

体育の授業を履修するにあたり、心身の状態について心配があり、相談したいという場合は、保健体育センターもしくは障がい学生支援室に問い合わせてください。

【問い合わせ先】 保健体育センター市ヶ谷体育課：電話 03-3264-9498

障がい学生支援室：電話 03-3264-6718

専門科目の履修

キャリアデザイン学部では、人が生涯にわたってたどる人生の軌跡の総体を「キャリア」として捉え、自己のキャリアを自律的・主体的にデザインするとともに、さまざまなかたちで他者のキャリア形成を支援する能力を身につけていきます。その際、とくにキャリアの設計・再設計をめぐる調査・研究を進めることができる知識・能力の養成を重視すると同時に、講義型科目および体験型科目双方を車の両輪としたカリキュラムを用意しています。こうしたカリキュラムを系統的に履修・学習することによって、自ら社会に働きかけていくことができる人材の育成を目指しているのです。

本学部では、キャリア形成の代表的な場として、(1)発達・教育キャリア領域（教育組織や人の発達など生涯学習社会におけるキャリア形成）、(2)ビジネスキャリア領域（人材育成や組織マネジメントなど産業社会におけるキャリア形成）および(3)ライフキャリア領域（家族や地域コミュニティなど生活に密接した場におけるキャリア形成）という三つの領域を設けています。専門性の高いキャリアデザイン研究を行うためには、基盤となる知識群について広く学際的に学んだ上で、一定の領域に絞って、専門的な知識群を深く学んでいく必要があります。このため、本学部のカリキュラムでは、基盤となる知識群を履修・学習した上で、上記(1)～(3)のいずれかの領域を選択し、当該領域を重点的に学ぶことによって高度な専門性をもった知識を身に付けるように体系づけられています。

科目履修の設計に際しては、卒業後の進路を念頭に置くとともに、学部教育を通じてどのような力をつけたいかを考え、履修計画を立ててください。そのために確認したいことや質問したいことがあれば、キャリアアドバイザーや基礎ゼミの担当教員等に相談して下さい。

本学部のカリキュラムの全体像については、下記の「カリキュラムの全体図」をご覧ください。

4年秋学期	学生研究発表会				
演習科目 2年秋学期～	専門演習（ゼミ 2年秋学期～） ・ 卒業論文（4年） キャリアデザイン学総合演習（4年） ※演習全10単位・卒論4単位				
展開科目 （プログラム科目） 2年春学期～ ※52単位以上 （選択した領域で 36単位以上）	教育と社会 現代教育思想 教育社会学Ⅰ・Ⅱ など	産業社会 労働経済学 職業キャリア論 など	多文化・グローバル社会 多文化社会論Ⅰ～Ⅲ 国際関係論Ⅰ・Ⅱ 国際地域研究Ⅰ・Ⅱ など	体験型選択 必修科目 2年春学期 ～	ベア科目 キャリアサポート実習 キャリア体験学習 キャリア体験学習（国際） 多文化教育Ⅰ・Ⅱ メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ（学部認定資格）
	学校教育と地域学習 学校論Ⅰ～Ⅳ 生涯学習論Ⅰ・Ⅱ など	集団・組織 戦略経営論Ⅰ・Ⅱ 経営組織論Ⅰ・Ⅱ 経営分析論Ⅰ・Ⅱ など	文化マネジメント アート・マネジメント論 ミュージアム概論 など		
	発達と学習 キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ など	個人・人間 産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ 人材育成論Ⅰ・Ⅱ リーダーシップ論 など	自己・他者・関係 アイデンティティ論 家族論 コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ など	総合科目 2年春学期 ～	就業機会とキャリア 職業能力ベーシックスキルⅠ・Ⅱ
	外書講読（2クラス）	外書講読（2クラス）	外書講読（2クラス）		
	発達・教育キャリア領域	ビジネスキャリア領域	ライフキャリア領域		
基幹科目 1年～ ※20単位以上	キャリアデザイン学入門（2単位 必修） キャリア研究調査法（2単位選択必修）：①質的調査 ②量的調査 入門系科目（全24単位中、各自が選択した領域から8単位全て履修する） 発達・教育キャリア入門A～D／ビジネスキャリア入門A～D／ライフキャリア入門A～D 共通基幹科目 キャリアモデル・ケーススタディ 労働法など				
市ヶ谷基礎科目 ※36単位以上	基礎ゼミ（必修） 情報処理演習 必修外国語 等				



関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ◆資格課程科目（教職・図書館司書・博物館学芸員・社会教育主事） ◆日本語教育関係科目 ◆国際コミュニケーション語学 ◆経営学部主催科目 ◆国際文化学部主催科目 ◆人間環境学部主催科目
-------------	--

自由科目	他学部公開科目 ERP科目 交換留学生学習プログラム・日本入門科目（旧：ESOP科目） グローバル・オープン科目 インターン・ボランティア 短期語学研修
-------------	--

1 科目の構成

上記の「カリキュラムの全体図」に沿って、具体的にカリキュラムの内容について説明していきます。

キャリアデザイン学部の科目は、領域とグレードという二種類の軸に従って配置されています。まず、領域とは、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、および(3)ライフキャリア領域、という三領域によって構成されます（上記全体図の横軸）。

(1)発達・教育キャリア領域では、人間発達、学校教育および学習社会における基本的な概念や理論を理解すると同時に、多様な現場実習によって、臨床的・実践的な基礎能力とスキルの向上を目標としています。(2)ビジネスキャリア領域では、働くこと、すなわちワークキャリアについて理解を深め、自らの働き方だけでなく働く場のあり方について、自ら研究を深めていくことを目標とします。(3)ライフキャリア領域では、私たちの生活に密着する家族やコミュニティについて理解を深め、社会の「仕組み」を読み解く視点を育てることを目標としています。この他、三領域に含まれない科目群として「関連科目」があります。これはキャリアに関連した教職や資格等に結びついた科目や生涯学習に必要なスキル（技能）を養成する科目が配置されています。

続いて、グレードは、基礎から応用までの相対的な位置を示します（上記全体図の縦軸）。基礎から応用に向かって、①基幹科目、②展開科目および③演習科目があり、これらの科目とは別に④体験系科目があります。以下、各グレード・領域別に、履修上、留意すべき点について説明します。

2 基幹科目

基幹科目は、本学部における学習目標を実現するため、基礎的・基盤的知識の修得を目指します。

まず、「基礎ゼミ」、「キャリア研究調査法」および「キャリアデザイン学入門」の三科目は必修科目です。これらのうち、「基礎ゼミ」と「キャリア研究調査法」は、少人数のゼミ形式で行われ、大学における学習の基礎的スキルや、キャリア研究調査の方法論をさまざまな演習をまじえて丁寧に学ぶ場です。

入門系科目は、(1)発達・教育キャリア領域、(2)ビジネスキャリア領域、(3)ライフキャリア領域に応じて配置してあります。上述のとおり、上級学年に至ると、(1)～(3)のいずれかの領域を重点的に学びますが、その基盤となる知識を修得する科目です。したがって、入門系科目の履修は、上級学年時に、重点的に学びたい領域を想定して行ってください。

共通基幹科目は、(1)～(3)の領域において共通に必要とされるものです。

3 展開科目

展開科目では、上記基幹科目の知識の上に、各自、三領域のうちのいずれかに重点を置き、専門的な知識を修得していきます。以下では、各領域別に、科目構成の特徴を説明します。

(1) 発達・教育キャリア領域

発達・教育領域は、(a)教育と社会、(b)学校教育と地域学習、(c)発達と学習に分けられます。(a)教育と社会はマクロ的な視点、(b)学校教育と地域学習はメゾ的な視点、(c)発達と学習はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 教育と社会には、「現代教育思想」、「教育社会学Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。人間は真空の世界に生きているわけではありません。社会とのかかわりの中で生きています。これらの科目では、教育や学習における歴史・制度・文化などの影響や諸外国との比較などを扱います。

(b) 学校教育と地域学習には、「学校論Ⅰ～Ⅳ」、「生涯学習論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。学校や地域といった単位が対象です。学校による違いや地域による違いは、発達や教育を考える上でも重要なテーマとなります。

(c) 発達と学習には、「キャリアカウンセリングⅠ～Ⅲ」、「生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。

教員がクラスルームで教える場面や、1対1で相談を行う場面など、相互対面的な単位になります。

(2) ビジネスキャリア領域

ビジネスキャリア領域の科目は、(a)産業社会、(b)集団・組織および(c)個人・人間に分けられます。(a)産業社会はマクロ的な視点、(b)集団・組織はメゾ的な視点、(c)個人・人間はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 産業社会には、「労働経済学」、「職業キャリア論」などの科目があります。社会全体、市場および産業といった単位が対象です。労働市場における需要と供給の関係をはじめ、ワークキャリアを取り巻く社会経済関係にマクロ的にアプローチします。

(b) 集団・組織には、「戦略経営論Ⅰ・Ⅱ」、「経営組織論Ⅰ・Ⅱ」、「経営分析論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があり

ます。ワークキャリアを形成する場、すなわち企業という単位が対象です。企業はどのような仕組みや論理に基づいて経営されているかなど、ワークキャリアを形成する場である企業の経営について多角的に理解していきます。

(c) 個人・人間には、「産業・組織心理学Ⅰ・Ⅱ」、「人材育成論Ⅰ・Ⅱ」、「リーダーシップ論」などの科目があります。個人あるいは人間といった単位が対象です。働く人の感情、考え、振る舞いなどに焦点をあてます。ワークキャリアを形成する個人あるいは人間という単位にミクロ的にアプローチしていきます。

(3) ライフキャリア領域

ライフキャリア領域の科目は、(a)多文化・グローバル社会、(b)文化マネジメントおよび(c)自己・他者・関係に分けられます。(a)多文化・グローバル社会はマクロ的な視点、(b)文化マネジメントはメゾ的な視点、(c)自己・他者・関係はミクロ的な視点、に基づく科目を配置しています。

(a) 多文化・グローバル社会には、「多文化社会論Ⅰ～Ⅲ」、「国際関係論Ⅰ・Ⅱ」、「国際地域研究Ⅰ・Ⅱ」などがあります。より広い範囲で、自己のキャリアと社会がつながりうることを知り、国際交流や文化比較なども視野に入れて学んでいきます。

(b) 文化マネジメントには、「アート・マネジメント論」、「ミュージアム概論」などの科目があります。文化やアートなどを通して、人びとや地域社会がいかにつながっていくのか、人びとの生活やまちづくりにおいて、文化活動の意味や位置づけはどういったものか、などをテーマとします。

(c) 自己・他者・関係には、「アイデンティティ論」、「家族論」、「コミュニティ社会論Ⅰ・Ⅱ」などの科目があります。自己が他者や社会とつながることについて、身近なコミュニティや家族などの生活を通して、キャリア形成や自己理解を含めて学びます。

4 演習科目

1年次春学期には、本学部で学ぶための基礎的な能力（アカデミック・スキルの基礎）を修得するための少人数授業として「基礎ゼミ」を設置しています。この授業は、20名程度の人数で、各クラス共通した内容で行います。

1年次秋学期には、「キャリア研究調査法（質的調査）」、「キャリア研究調査法（量的調査）」を設置しています。この科目は、自らデータを収集して分析する能力を養うことを目的としており、2年次秋学期からの「キャリアデザイン学演習」への橋渡しをする科目です。1年次秋学期に「キャリア研究調査法（質的調査）」と「キャリア研究調査法（量的調査）」のいずれかを履修することが必須です。2年次にもう一方を履修することも可能であり、推奨します。

2年次秋学期から4年次秋学期までの「演習」は、学生が自らの専門性向上のために主体的に学び合う、少人数形式の授業です。担当教員により進め方は様々ですが、学生によるプレゼンテーションやディスカッションを中心として行われ、教員は助言や支援、コーディネートなどの役割を担うのが主たる形式です。

1年次の「基礎ゼミ」とは異なり、授業内容は、各担当教員の専門分野に沿った、多様なものとなっています。学生が、自分の関心のある専門領域に関する理解を深め、研究を行うことを目的としています。担当教員により異なりますが、原則として、本学部での学びの集大成として、4年次には卒業研究として卒業論文の提出が求められます。

「演習」は、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域に担当教員が配分され、学生自身が希望する担当教員1名を選んで応募する形をとっていますが、少人数形式という科目の特性上、応募者が多い場合には教員による選考により履修者が決定されます。

また、3～4年次の科目として、これまでの学びの集大成として、(1)発達・教育キャリア、(2)ビジネスキャリア、(3)ライフキャリアの三領域を横断してキャリアデザインを研究する「キャリアデザイン学総合演習」を配置しています。キャリアデザイン総合演習の履修は必須ではありませんが、本学部で培った幅広い視野でキャリアデザインを研究する総合性の高い科目として、意欲ある学生の履修を期待しています。

演習 履修決定の手続きとスケジュール（予定）

履修決定は5月～7月にかけて行います。詳細なスケジュールは後日掲示でお知らせします。

5 体験型選択必修科目

卒業要件には、卒業所用単位数を満たすだけでなく、それらの中に「体験型選択必修科目」が4単位以上含まれていることが謳われています。「体験型選択必修科目」は、ほぼすべての科目で教室を離れて人やコミュニティと直接かかわる活動を行います。「事前指導」や「Ⅰ」を先に履修し単位を取得した後、「実習」や「Ⅱ」を履修するもので、春学期と夏学期、ペアで履修することが必要です。また、教室外での実習を伴うため、授業に真摯に取り組む態度が求められます。

「体験型選択必修科目」には合わせて六つのペア科目があるので、前掲の「体験型選択必修科目」一覧表で確認してください。以下では、体験型科目の三つについて紹介します

<キャリアサポート事前指導・キャリアサポート実習>

キャリアデザイン学部は自らのキャリアをデザインするとともに、人のキャリアデザインをサポートする能力を養成することを目指しています。そのため、このペア科目では、学内外でさまざまなサポート活動を行いながら、その活動を通じて学ぶという体験を中心にすすめています。そのサポート活動を実際に行うのが「キャリアサポート実習」ですが、そのための意識や知識、スキルなどをしっかりと身に付けるために事前に行うのが「キャリアサポート事前指導」です。

「キャリアサポート事前指導」では、人の話を「聴く」ことからはじめ、他者との円滑なコミュニケーションの方法を学びます。ディスカッションの進行役（ファシリテーター）を経験したり、他者のキャリア形成をサポートするためのプログラムを実際に作成したりします。必要に応じて学期の途中で実習を行うことがあります。

「キャリアサポート事前指導」での学びがあった上で、「キャリアサポート実習」では、実際にさまざまな現場でサポート活動を行います。主に高校に出かけ、高校生たちとともにキャリア教育や進路相談をテーマにしたワークショップを行います。この活動体験の成果はレポートにまとめて提出し、指導教員やキャリアアドバイザーからコメントをもらうほか、成果報告会で発表し、受講学生同士で互いにコメントするなどして振り返りを行います。

キャリアデザイン学部の専門科目には、活動しながら学ぶ授業が多く設けられています。それらに臨むためにも、ぜひこの科目を通じて、必要な力をつけてください。

<キャリア体験事前指導・キャリア体験学習／キャリア体験事前指導（国際）・キャリア体験学習（国際）>

これら2つの体験学習ペア科目は、国内外の一般企業（多種多様な業種）、非営利団体（NPO）、自治体その他の公共機関や各種業界団体等のさまざまな職場において、一定期間に実際の業務を体験すること（インターンシップ）、あるいはそういった機関で活動する人との課題解決学習や協働活動等を通じて、多様な文化や価値観に触れ、仕事に対する感覚や理解を涵養し、自分自身のキャリアデザインの一助とすることを目的としています。

キャリア体験学習は、主に企業における就業体験をメインに行います。企業や団体の現場で実際に働く経験をすすめるインターンシップ型とグループで企業の課題解決に取り組むプロジェクト型の授業があります。インターンシップ型のAコース（実習先を学部で用意する）とBコース（実習先を履修生が自主開拓する）、プロジェクト型のCコース（中小製造業との産学連携活動として実習する）の3つのコースがあります。

キャリア体験学習（国際）では、ベトナム（ホーチミン）、台湾（台北）でのキャリア体験学習を実施します。訪問する国の実情に合わせて、インターンシップだけではなく、文化体験や企業訪問、現地の大学生との協働活動など、多様なかたちでキャリア体験学習を実施します。

実習が中心となるのはもちろんですが、実習先の概要や仕事の中身などについて各自で調べ、学習することも不可欠です。また実習の成果については、公開でプレゼンテーションを行ったり、報告書にまとめて公表したりします。それぞれのクラスの特徴をよく理解したうえで応募してください。

地域学習支援Ⅰ・Ⅱの履修と「地域学習支援士」の認定について

(1) 地域学習支援Ⅰ・Ⅱ

この科目は、現代の地域社会でニーズが高まっている地域学習支援の方法について学び、多様な職業分野で期待されている学習支援者としての専門性を習得することを目的としています。具体的には、地域づくり学習、ユースワーク、多文化理解、コミュニティ・メディア、地域文化創造、フィールドミュージアムなどの学習活動分野のプログラム編成、組織運営マネジメントなどについて理論面と実際面から学び、コーディネーターとして地域社会のネットワークの形成や地域活性化に寄与しうる力量を形成することをめざします。地域学習支援Ⅱでは、それぞれの分野ごとに専門の教員が指導をおこないます。

地域学習支援のマネジメントやコーディネーターの専門性は、国・自治体、公共機関の職員はもとより、地場産業や観光・サービス関連産業の事業経営、一般企業の地域貢献、経済団体連合会や商工会議所などの地域振興事業、自立支援・地域づくり・文化・環境分野などのNPO市民活動、グローバルな交流にとりくむ国際機関・NGO活動などにおいて幅広く求められています。地域学習支援に関わる専門性を身につけて多様な職業分野への就業力を高めるとともに、NPOやボランティア活動などにも参加して、勤労者・市民として社会を担う実践的な知識や行動力を培うことを目的とします。

この科目は学部認定資格「地域学習支援士」資格を取得する場合には必修です。もちろん、資格取得に関係なく、体験型選択必修科目として履修することができます。

(2) 学部独自の認定資格「地域学習支援士」について

別表に示すように、地域学習支援Ⅰ・Ⅱ合わせて4単位と選択必修科目8単位及び選択科目18単位の合計30単位を履修した学生には、4年次の卒業単位認定の時期に、所定の申請手続きを経て、学部から「地域学習支援士」資格取得の認定証が交付されます。この資格の取得を履歴書などに明記することができます。

本学部では教職・社会教育専門職などの国家資格を取得することができますが、地域学習支援士はこれらに加え、より多様な職業分野における新たな現代的、社会的ニーズに対して、「学びを通じて人を支援する」専門性を身につけていることを学部として認定するものです。

別表 地域学習支援士資格認定科目

(2014～2016年度入学者用)

<p>共通必修科目 (4単位)</p>	<p>地域学習支援Ⅰ 地域学習支援Ⅱ</p>
<p>選択必修科目 (8単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅲ・Ⅳ (成人教育論Ⅰ・Ⅱ) 学校論Ⅲ (キャリア教育)・Ⅳ (キャリア教育) 多文化教育Ⅰ・Ⅱ キャリアカウンセリングⅠ・Ⅱ メディア教育論Ⅰ・Ⅱ アート・マネジメント論・文化経営論 メディアリテラシー実習Ⅰ・Ⅱ ミュージアム概論 ミュージアム経営論</p>
<p>選択科目 (18単位)</p>	<p>生涯学習論Ⅰ・Ⅱ 社会教育活動Ⅰ・Ⅱ NPO論 ミュージアム教育論 メディア文化論 多文化社会論Ⅲ 情報メディアの活用 ファシリテーション論 図書館情報資源概論・図書館情報資源特論 ミュージアム情報・メディア論 産業文化論 文化マーケティング論 家族論 若者の自立支援 特別活動論 生徒・進路指導論 世代間交流論 職業選択論Ⅰ・Ⅱ アジア社会論Ⅰ・Ⅱ アントレプレナーシップ論Ⅰ・Ⅱ シティズンシップ論</p>

6 自由科目

「他学部公開科目」「ESOP科目」「ERP科目」「グローバル・オープン科目」「インターン・ボランティア」「短期語学研修」が該当します。卒業までに16単位が上限で自由科目として履修可能です。ただし受講資格と単位認定は以下のとおりそれぞれ異なりますので、履修の際は十分注意してください。また、自由科目として修得した単位はセメスター・年間の履修登録上限単位数の対象となります(インターン・ボランティア、短期語学研修は対象外)。

(1) 他学部公開科目

受講資格は2・3・4年次生に限られます。詳細は、Webシラバス(講義概要)を参照してください。

(2) ESOP科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。海外から受け入れた交換留学生用の、日本という国に関わるテーマをとりあげた英語の講義・ゼミです。履修要綱は学部窓口にて配布します。開講科目など詳しくはグローバル教育センター事務部国際交流課(E-mail: ic@hosei.ac.jp、電話番号: 03-3264-9402)にお問い合わせください。

(3) ERP科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。英語による少人数(10名～20名)・双方向授業を授業形態として実施されている、英語4技能(listening、speaking、reading、writing)の養成とその統合を目的とした授業です。卒業所要単位として単位修得することを希望する場合、履修登録時に指定すると自由科目として履修できます。履修要綱はグローバル教育センターのホームページで確認してください。開講科目等、詳しくはグローバル教育センター事務部グローバルラーニング課(E-mail: global@hosei.ac.jp、電話番号: 03-3264-4088)にお問い合わせください。

(4) グローバル・オープン科目

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。ただし、2016年度以前に1～2年生として受講した授業に対し、さかのぼって単位認定はできません。法政大学が「世界のどこでも生き抜く力を身につけたグローバル社会のリーダー」を育成するために2016年度から全学で開講されている学部横断型の科目群です。詳細は、グローバル教育センターのホームページで確認してください。

(5) インターン・ボランティア

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。

グローバル教育センターが主催している「国際インターンシップ」「国際ボランティア」プログラムです。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。

(6) 短期語学研修

1年次～4年次まで受講できます。単位認定を受けられるのは2017年度より1年生から可能です。

グローバル教育センターが主催している集中語学研修です。実施されるプログラムは実施期間により異なります。詳細はグローバル教育センターのホームページで確認してください。